



自然の恵み野 わっさむ町

わっさむ



4月1日にオープンした子育て支援センターこども館

和寒高校60年の歴史に幕	2～3
和寒町地域新エネルギービジョン	4～5
和寒町の予算	6～7
町政執行方針	8～16
教育行政執行方針、教職員人事異動	17～21
クローズアップ人	22
町職員人事異動、消防団人事異動	23
役場組織一覧表	24～25
長寿医療制度のおしらせ、ジュニアオリンピック	26～27
読書感想文コンクール、町民スキー大会結果	28
図書館へいこう、病院だより	29
年金あれこれ、これからの家庭教育	30
カメラアイ	31

2010
(平成22年)

4

No. 665

特集

最後の卒業式 在校生8名が笑顔と涙で 和寒高校60年の歴史に幕

昭和25年に北海道永山農業高等学校和寒分校として開校してから60年間の歩みが続けてきた和寒高校が3月末で閉校となりました。これまでの歴史や最後の和寒高校卒業式の様子などをご紹介します。

60年間の歴史に幕

昭和25年、北海道永山農業高等学校（現旭川農業高校）和寒分校（定時課程夜間農業科）として開校したが、和寒高校の前身であり、昭和27年に北海道和寒高等学校として独立しました。

昭和42年には北海道へ移管され、今日まで60年間の歴史を歩み続けてきましたが、道立高校の再編に伴い、平成22年3月で閉校となりました。



S33年当時の校舎

最後の卒業生

3月1日（月）、和寒高校において最後の卒業式が行われました。



S39年改築時の校舎

和寒高校最後の卒業生は、伊藤嘉伸さん、大場康人さん、桑山亮太さん、竹本将大さん、原高弘さん、三好涉太さん、大盛茜さん、矢萩千翔さんの8名。

卒業生は、大きな体育館に1列に整列し、壇上で小越校長先生より最後の卒業証書を受け取りました。

式では、送辞として教職員代表の猪狩先生が「これからは厳しくつらい道となるが、自分に自身を持って、力を信じて、誠実に着実にそれぞれの道を行ってほしい」と言葉を送りました。また、和寒高校の卒業式では恒例となっている一人ひとりの思い出なども紹介され、会場には涙ぐむ場面も多く見られました。



答辞では、最後の生徒会長となった三好涉太さんが、これまでの学校生活を振り返りながら「このクラスみんなとともに過ごした学校生活はいい思い出となった。みんなで助け合い最後はいつも笑うことができた。支えてくれた皆さんに感謝したい」と感謝の言葉を述べました。

その後、生徒たちは全員で中央のくす球を割ると、「和魂よ永遠に」に書かれた垂れ幕が掲げられ、会場から大きな拍手が送られました。

ホームルームに戻った生徒たちは、担任の根府先生と握手をしながら、お別れの言葉を一人ひとり述べ3年間の学校生活を終えました。



和寒高校の伝統
開校以来60年間「誠実・勤労・剛健」を校訓にし、和寒高校魂が次の世代へと引き継がれてきました。これまで3千679名の卒業生を送り、農業後継者や地域経済界で活躍している人も数多くあり、まさに地域に根ざした学校でありました。昭和30年代後半には定時制の農業クラブが全国大会に出場し、陸上部



は、マラソンや駅伝で和寒高校の名を上げていきました。

昭和40年代半ばからは、部活動がさらに活発化し、卓球、野球、バドミントン、スキー、剣道、庭球、演劇と部活動の黄金期を迎え、全道・全国大会で活躍しようと、生徒たちが切磋琢磨した時代がありました。そして、昭和53年には全国高校スキー大会の個人の部で男女アベック優勝を成し遂げ、昭和62年、63年には全国高校スキー大会男子リレーで全国2連覇を達成し、その名が全国に知られるようになりました。

昭和56年には、全日制278名、定時制81名と過去最高の在籍数となりましたが、平成

元年に39年間続いた定時制課程が閉課となり、平成7年には全日制1問口の高校となり、生徒数も徐々に減少していくこととなりました。長年培われてきた伝統は、60年間という長い歴史を刻み続けてきましたが、平成22年3月でその歴史に幕が下りました。

閉校記念式典

3月6日(土)には、閉校記念式典が行われ、教育委員会関係者をはじめ同窓生の方々や町内関係者ら約350名が参加し、閉校を惜しみませんでした。

式辞では、小越校長先生が「60年の歳月が流れる中、地域とともに歩む学校づくりを目標に、たくましく心豊かな生徒の育成に全力で取り組んできました。いつまでも皆さんの



心に和寒高校が在り続けてくれるでしょう」と述べました。

また、閉校記念事業協賛会の会長である合田鉄雄さんは「職員や同窓生の皆さんにご協力をいただき、最後の卒業生8名を送り出すことができました。これまでのご協力に感謝したい」と感謝の言葉を述べました。

その後、会場を恵み野ホールに移し行われた、惜別の会では、徐々に再会した恩師や友人と和やかに楽しいひとときを過ごしました。

閉校を記念して作成されたDVDが上映されると、会場からは当時を懐かしむ声が多く聞かれました。

和寒高校の歴史と伝統は、60年間の歴史に幕を閉じることとなりますが、同窓生の方々をはじめ多くの関係者の皆さんの記憶に残っていくものとなりました。



特集

環境にやさしいまちづくり

和寒町地域新エネルギービジョン 重点プロジェクトを設定

地球温暖化防止対策として注目されている新エネルギー。

先月号に引き続き、和寒町における新エネルギー施策や重点プロジェクト **【後編】** についてご紹介します。

新エネルギーの導入に向けて

地域の自然を活かし、地域の産業に根ざした資源を循環利用して得ることのできる「新エネルギー」は、二酸化炭素の排出が少ないなど環境に対する負荷が小さく、長期的・潜在的に一定の供給力を担う可能性のあるクリーンなエネルギーです。

和寒町新エネルギービジョン策定検討委員会（委員長・荒木肇北海道大学教授）から伊藤町長に、調査の結果が答申されました。



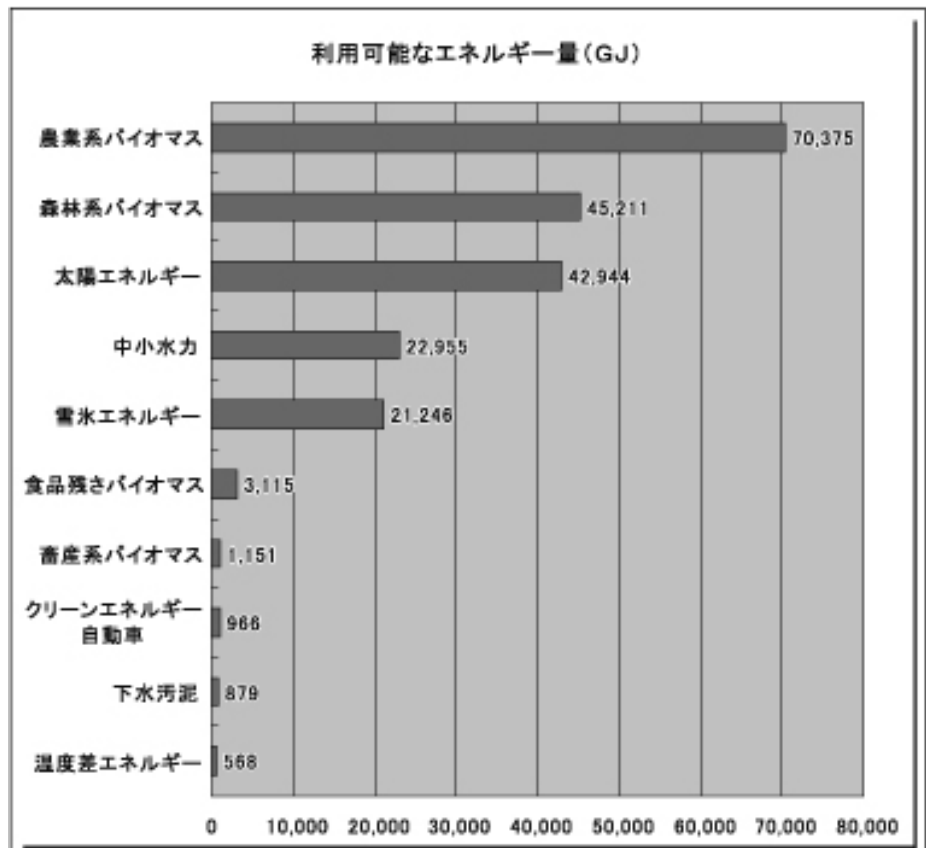
伊藤町長に答申する荒木委員長

新エネルギーの利用可能量

今回の調査で、本町における新エネルギーの利用可能量は、年間約209,410GJと算定され灯油のホームタンク（490ℓ）に換算すると、約11,644個分に相当することがわかりました。

1GJは、灯油約27ℓ分のエネルギーに相当します。

利用可能量が多い新エネルギーは農業系バイオマス、森林系バイオマス、太陽エネルギー、雪氷熱エネルギーなどで、策定検討委員会では本町における新エネルギーの賦存量や利用可能量の調査結果をもとに、重点的に推進すべきプロジェクトを設定しました。



新エネルギー施策の重点プロジェクト

§ 太陽光発電プロジェクト

(太陽光を利用した発電システムでCO₂削減)

§ 太陽熱利用プロジェクト

(太陽の熱を利用して温水を作ったり乾燥に利用する取り組みでCO₂削減)

§ 森林系及び農業系バイオマス利活用プロジェクト

(今まで捨てられたり使われていない資源を活用したカーボンニュートラルな取り組みでCO₂削減)

§ 雪氷熱利用プロジェクト

(雪や氷の冷熱を貯蔵などに利用して農作物などの高付加価値化)

§ 新エネルギー普及啓発プロジェクト

(新エネルギーをみんなで理解してエコなまちづくり)

～詳しくは、別冊「和寒町地域新エネルギービジョン概要版」をご覧ください！～

～町ホームページではビジョンの全文を掲載します。～

エコなまちづくり

私たちの身近にあるもの、努力すれば利用可能な資源、次世代の子どもたちに自然豊かな和寒町を残すための施策など、新エネルギーの導入や省エネルギーの取り組み、環境に配慮したエコな町づくりを進めるには、町民の皆さん、各事業所の方々、行政などが協働した取り組みが大切です。

新エネルギーの導入に向けた体制づくりや、新エネルギー・省エネルギーの普及啓蒙の様々な取り組みを進め、環境に配慮し豊かな自然と共生しながら本町が活性化するための施策を実行します。



交流施設ひだまりに設置された太陽光パネル

関連する町の助成制度のご案内

●家庭部門の二酸化炭素排出の削減と、クリーンなエネルギーの導入をお考えの方は…

「和寒町省エネルギー促進支援事業」がオススメです。

1. 住宅用太陽光発電システム設置事業

⇒町内の一般住宅に太陽光発電システムを設置する方は、1kW当たり3万円(上限5kWで15万円)の助成が受けられます。

2. 木質バイオマス燃料ストーブ設置事業

⇒町内の一般住宅に木質ペレットストーブまたは木質ブリケットストーブを設置する方は、ストーブ本体価格(税抜)の2分の1以内(上限15万円)の助成が受けられます。

3. 省エネルギー住宅改修事業

⇒町内の一般住宅(建築年数10年以上経過)を窓・床・壁・天井の断熱改修工事をされる方は、補助対象経費の2分の1以内(上限15万円)の助成が受けられます。

※詳しくは、広報わっさむ平成21年11月号をご覧ください。

※助成期間は平成21年度から平成22年度までの2年間ですのでご検討中の方はお早めにお問い合わせをお願いします。詳しくは、役場総務課まちづくり推進係まで。

●ご自分の所有している森林の整備をして二酸化炭素の吸収源をアップさせようとお考えの方は…

「和寒町除間伐推進事業」がオススメです。

⇒北海道森林環境保全整備事業の補助対象となった除間伐事業を、和寒町森林組合に委託して行う森林所有者は、公共補助事業の自己負担額の2分の1(1ha当たり1万円を限度)の助成が受けられます。

※詳しくは、役場産業振興課畜産林政係または和寒町森林組合まで。

平成22年度 和寒町の予算

総額59億2,569万円

前年比2億1,852万円 (3.83%)

＝重点方針＝

- ◇特性ある地域産業の振興◇
- ◇安心・安全な福祉社会の実現◇
- ◇元気なまちを支える担い手の育成◇
- ◇教育環境の充実と文化・スポーツの振興◇

平成22年度の和寒町一般会計及び特別会計予算が3月18日の定例町議会で議決されました。

4つの重点方針を柱に策定された新年度予算額は総額で59億2,569万円となり、前年比2億1,852万円の増となりました。本年度予算の主な事業内容についてお知らせいたします。

(単位：千円)

会計区分		本年度予算	前年度予算	増減額	増減率
一般会計(A)		3,610,000	3,548,000	62,000	1.75
特別会計	国民健康保険特別会計	643,000	698,500	55,500	7.95
	簡易水道事業特別会計	88,724	63,248	25,476	40.28
	公共下水道事業特別会計	134,997	133,974	1,023	0.76
	後期高齢者医療特別会計	48,000	51,700	3,700	7.16
	老人保健特別会計	0	7,310	7,310	100.00
	介護保険特別会計	579,148	702,773	123,625	17.59
	合計(B)	1,493,869	1,657,505	163,636	9.87
町立病院事業会計	歳入	678,807	492,400	186,407	37.86
	歳出(C)	821,829	501,669	320,160	63.82
総額(A+B+C)		5,925,698	5,707,174	218,524	3.83

予算

町がさまざまな仕事を行うための1年間(4月～3月まで)の収入と支出です。

一般会計

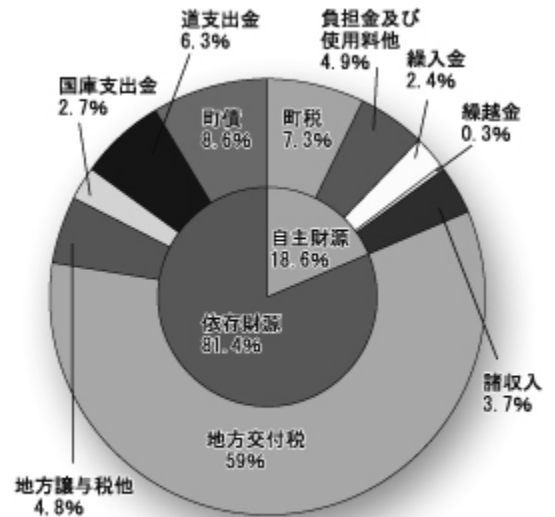
町の仕事を行うための支出と、そのための必要な収入を管理する会計の中で、一番基本的なものです。

特別会計

特定の事業を行う場合や、特定の支出に充てるため、一般会計と区別して管理する必要がある場合に設けられる会計です。

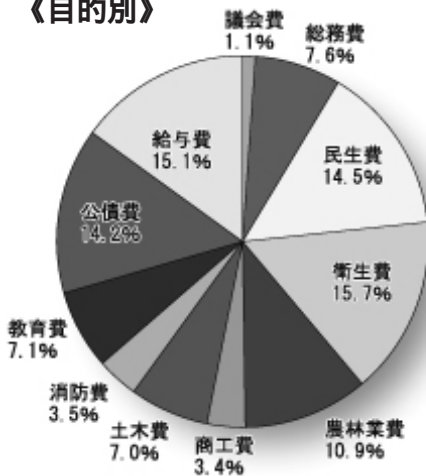
一般会計の歳入の状況

区 分	予 算 額	町民1人 当 たり	説 明
町 税	2億6,250万円	65,822円	町民税、固定資産税、軽自動車税など皆さんに納めていただく税金
負担金及び使用料他	1億7,606万円	44,147円	負担金や保育料、公営住宅使用料、住民票など手数料
繰 入 金	8,698万円	21,810円	町の基金(貯金)を取り崩すもの、他の会計からの繰入金
繰 越 金	1,000万円	2,508円	前年度会計の残金のうち、本年度に繰り越す額
諸 収 入	1億3,517万円	33,894円	預金利子、貸付金元利収入、学校給食費、自動販売機の電気料など
地方交付税	21億3,000万円	534,103円	町の規模により、標準的に必要なお金を算定し、国から交付されるお金
地方譲与税他	1億7,208万円	43,149円	自動車重量税、預金利子にかかる税金、消費税、自動車取得税など一定の算定により交付されるもの
国庫支出金	9,919万円	24,872円	福祉分野などで国の負担分などとして国から入ってくるお金
道 支 出 金	2億2,652万円	56,800円	道が行なうべき事務への委託金や道の政策による補助金
町 債	3億1,150万円	78,110円	公共事業などを行なうときに国などから借り入れる借金
合 計	36億1,000万円	905,215円	

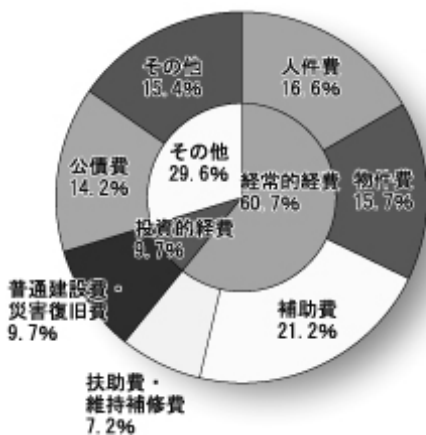


※1人当たりの金額は、一般会計予算額を科目ごとに平成22年2月末現在の人口で割ったものです。

《目的別》



《性質別》



一般会計の歳出の状況

区 分	予 算 額	町民1人 当 たり	説 明
議 会 費	3,892万円	9,759円	議員報酬や「議会だより」の発行など議会運営に関する経費
総 務 費	2億7,419万円	68,754円	自治会の補助、役場庁舎管理、住民票の発行、広報誌発行などの経費
民 生 費	5億2,329万円	131,216円	老人福祉や児童福祉、国民年金など福祉に関する経費
衛 生 費	5億6,680万円	142,126円	健康診査やごみ、し尿処理など健康や環境衛生に関する経費
農 林 業 費	3億8,485万円	96,502円	農業振興や農林道の維持、ほ場整備などに関する経費
商 工 費	1億2,246万円	30,707円	商工業の振興対策や観光に関する経費
土 木 費	2億5,135万円	63,027円	町道の維持管理、公営住宅、除排雪などに関する経費
消 防 費	1億2,490万円	31,319円	消防活動に必要な経費を士別地方消防事務組合に支出
教 育 費	2億5,765万円	64,606円	小中学校の運営や公民館、体育館、図書館などに関する経費
災 害 復 旧 費	302万円	757円	地震・水害など災害にあった場合、修復するための費用
公 債 費	5億1,265万円	128,548円	公共施設などを建設する際に借り入れた国などからの借金の返済金
給 与 費	5億4,782万円	137,367円	町職員の給与に関する経費
諸 支 出 金・予 備 費	210万円	527円	
合 計	36億1,000万円	905,215円	

町政執行方針

平成22年第1回町議会定例会の3月4日、伊藤町長が町政執行方針、星教育長が教育行政執行方針をそれぞれ表明し、議会や町民に理解と協力を求めました。以下、執行方針及び主要施策の内容をお知らせします。



町長 伊藤 昭 宣

平成22年第1回町議会定例会の開会にあたり、町政執行への私の所信を申し上げ、議員の皆さまのご理解とご協力を賜りたいと存じます。
私は、この度の任期満了に伴う和寒町長選挙におきまして、町民の皆さまのご支援とご厚情により無投票当選の栄に浴し、引き続き町政を担うこととなりました。ここに、心から感謝を申し上げますとともに、初心に返り粉骨砕身、町政伸展のため努力して参りますので変わらぬご指導、ご

鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。

政権交代から5か月余り、鳩山首相にとつて初の予算編成となった平成22年度予算は、その透明化を高めるため事業仕分けが導入された中「コンクリートから人へ」「新しい公共」「地域主権」といった基本理念をもとに編成され、21年度2次補正予算と22年度予算を一体として切れ目なく執行することにより、国民生活に安心と活力をもたらす社会に転換していくとして、子育て、雇用、環境等に特に重点を置く一方、公共事業費を大幅に削減する内容で、一般会計予算の総額を過去最大の約92兆3千億円とする見込みであります。

一方、北海道においては景気低迷により道税収入が21年ぶりに5千億円を下回る見通しとなり、厳しい財政運営を迫られる中、公共事業費が過去10年間で最大の減少幅となる2割減の見通しで、道内経

済にとつては厳しい予算になる見込みであります。

これまで私は、総合計画と行政改革を行政運営の両輪として、効果的・効率的なまちづくりに取り組みとともに、将来にわたり町民の皆さまが仕事や暮らしに希望の持てる「元気なまちづくり」を進めて参りましたが、依然厳しい社会情勢にあつて、期待される生活対策や地域経済対策をとおして、地域の活性化が図られるよう引き続き努力をして参ります。

平成22年度の予算編成にあたり懸念された地方交付税は、地方の自主財源の充実、強化を図るとして、対前年比で1兆733億円が増額確保される見込みであり、本町といたしまして21年度と比較し7千万円増で計上したところであり、自主財源に乏しい状況の中、今後も収入全般にわたりその確保に徹底を期して参ります。

一方、歳出面では、地域の経済情勢も考え、町長選による骨格予算とはせずに国の地域活性化策と一体となつて取り組むべく、当初予算に計上出来うる事業を多く盛り込むとともに、経常的経費の一層の効率化を図り、経費の縮減に努めながら元気ある和寒町を創るための予算としたこと

であり、行政サービスの維持を図るとともに、限られた予算で最大の効果が得られるよう町政の執行にあたる所存であります。

重点方針

私は2期目の政策として
一、協働のまちづくり
一、担い手後継者対策
一、子育て支援
一、代替エネルギーの事業化の4つを掲げさせていた

いたところであり、1期目に成し遂げた自治会移行や自治基本条例の制定による「協働のまちづくり」の確実な推進と核施設となる子育て支援センターの建設による「子育て支援」の充実に今後一層取り組むとともに、現在検討を進めている「担い手後継者対策」と「代替エネルギーの事業化」について、しかるべき協議・研究を進めながら本町に相応しい方策について合意形成を図り、その具体を旨指して参る所存であります。

また、予算編成にあつての重点方針は、21年度に掲げております「特性ある地域産業の振興」「安全・安心な社会福祉の実現」「元気なまちを支える担い手の育成」「教育環境の充実と文化・スポーツの振興」の4項目の更なる充実に図ることといたしました。

予算規模

一般会計36億1千万円（対前年比1.75%増）となりましたが、国の補正措置による「地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業」の1億979万円等を含む22年度に繰り越しされる事業を加味した実質的な一般会計予算は、37億3千416万1千円と対前年比5.24%の増となつたところであります。

特別会計は、

国民健康保険特別会計6億4千300万円（対前年比7.95%減）、簡易水道事業特別会計8千872万4千円（対前年比40.28%増）、公共下水道事業特別会計1億3千499万7千円（対前年比0.76%増）、後期高齢者医療特別会計4千800万円（対前年比7.16%減）、介護保険特別会計5億7千914万8千円（対前年比17.59%減）、町立病院事業会計8億2千182万9千円（対前年比63.82%増）となつており、老人保健特別会計が21年度をもって廃止されることから731万円が皆減となり、全会計の合計は、59億2千569万8千円、対前年比3.83%、金額にして2億1千852万4千円の増額予算になったところであります。

農業関係

昨年の天候不順による冷湿害は、本町農業に甚大な被害を与え、農業はもとより地域の経済に大きな不安をもたらす結果となり、その対策として昨年末に「農業緊急支援事業」を発動し再生産への意欲を喚起するとともに、JA北ひびきが実施します水稲・小麦の種子助成に対し、町として呼応して実施するため、22年度予算において融資制度への利子補給とともに計上しており、一連の対策を講じたところでであり、基幹産業である農業が、そのご苦労が報われる出来秋を迎えられますよう念願する次第であります。

水稲関係

平成23年度から本格的に導入されます戸別所得補償制度の実証モデルとして実施される「米戸別所得補償モデル事業」は、標準的な生産に要する費用と標準的な販売価格との差額を定額部分として全国一律に10アール当たり1万5千円が交付されることとなり、これまでの「産地確立交付金」と「水田有効活用促進交付金」は廃止され新たに国内自給率向上を図るための「水田利活用自給力向上事業」に改められ、水田を有効活用すべく全

国統一単価で交付される事となりましたが、本町における転作作物には南瓜等の野菜が多く作付けされており、急激な収入減になるものと心配されましたが、全国の生産者や農業団体からの強い要望があり、本年度限りではあります。が激変緩和措置が講じられまされたので、現在、道と地域協議会での調整が進められており、少しでも前年の交付額に近づけよう協議を進めているところでもあります。

中山間地域等直接支払交付金、農地・水・環境保全向上対策

中山間地域等直接支払交付金は、平成17年から5年間の事業として実施して参りましたが、国ではこの内容の一部を見直し更に5年間事業が継続されることとなり、「農地・水・環境保全向上対策」につきましても、国の予算が減額されましたが、道協議会では昨年までの剰余金の取り崩しにより本年度の予算を確保しましたので、自然と環境にやさしい農村・農業に向けた地域の取り組みを推進していただくべく、昨年度実績と同額の予算を計上したところでもあります。

本年は大きな農政の転換期であり、遺漏のないよう情報収集に努め農家経営の

安定に寄与できるように、農業委員会や各関係機関、農業者のご意見を尊重しながら、本町農業の持続的な発展を期すべく努力して参ります。

農業活性化センター

農業活性化センター農想塾につきましても、農業者の方々の要望や新たな作物の試験研究を進めながら研修生の技術向上に努めて参りますし、研究結果を農家に情報提供して営農の参考にしていただくとともに、良質な農産物の生産に欠かすことのできない土壌診断・食味分析も継続して参りますが、土壌分析機器類は耐用年数を経過しているものもあり、部品等の調達も困難になることから、本年は「原子吸光度計」の更新をして参ります。

また、パーク原料は木工場の減少等により原料調達が困難な状況にあり、これまでは1立方メートル当たり1千400円で購入してありましたが、本年度は1千500円に値上げとなることから販売価格の値上げを検討した結果、農家経済が厳しい状況にあることを踏まえ、現行の1千300円で据え置くこととしたところでもあります。

農村生活体験事業

「農村生活体験事業」ですが、昨年は男性2名、女性3名が来町され、精力的に実習に取り組みまれ大変喜ばれたところであり、これまで体験事業で訪れた実習生で、12名の方が本町の後継者と結ばれ、現在も5名の方が定住し本町で働いており、一定の事業効果を上げておりますことから、本年度についても受け入れ農家や関係機関と連携をより一層深め、充実した事業として継続して参ります。

担い手対策事業

担い手対策事業につきましても、関係職員で組織する担い手対策作業部会において検討を進めているところであり、担い手が、農村生活体験事業との連携を図りながら、来町された実習生が農業に魅力を感じ、将来立派な農業者として活躍できるようにその方策について、できるだけ早期に方向性を出すよう鋭意努力して参ります。

土地改良事業

土地改良事業関係であり、農業者の安定と生産性の向上を図る上で欠くことの出来ない事業であり、22年度においても新たに剣和幹線地区基幹水利マネジメント事業を加えた6地区で実施となりますが、国の土地改良事業費の削減に伴い要望額の6割程度、4億7千272万円の事業費で、暗渠、水路整備等の工事を実施することとなりました。

畜産関係

畜産関係では、厳しい経営状況が続く中で、牧草の重要性が増すことから、本年も25ヘクタールの草地改良事業と、より良い乳牛育成のため、受精卵移植事業も継続して参ります。

林業関係

林業関係につきましても、日ノ出12林班においてアカエゾマツ2、2ヘクタール、朝日30林班においてカラマツ2ヘクタールを造林することとし、下刈・除間伐作業などを今後とも計画的に継続するとともに、昨年測量を実施しました基幹作業道東和線開設工事は本年度から2年の事業期間で施工を予定しており、本年は900メートルの工事を実施して参ります。





有害鳥獣による農作物被害が増大する中、エゾシカ捕獲奨励補助事業等により被害防止対策を講じ、猟友会の方々のご協力をいただき効果を上げているところであり、一部地区においては熊出没の目撃情報も寄せられていることから、人に危害が及ぶ可能性もありますので新たに熊用の箱罠の設置費用を計上しているところであり、**新エネルギービジョン** 昨年度から進めて参りました「和寒町地域新エネルギービジョン」が策定され、過日検討委員会から報告をいただきましたので、これを基本に本年度は具体的な導入計画を進めて参りたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。

農林業関係の主な事業

農業委員会費 4,380千円

- ★担い手推進事業
(農村生活体験事業、担い手推進協議会補助)
- ★農地流動化活動事業

農業振興費 134,207千円

- ★後継者育成振興奨励事業
(担い手育成モデル事業、認定農業者農地利用集積支援事業、新規就農対策事業補助、担い手研修等報償)
- ★畑作振興対策
- ★稲作振興対策
- ★農家経営安定対策
(各種農業制度関連資金利子補給補助、平成16年度台風被害支援利子補給、平成21年度冷湿害被害支援利子補給【新規】)
平成21年度冷湿害対策種子購入等補助【新規】
- ★中山間地域等直接支払事業

経営構造対策費 42,967千円

- ★農業活性化センター運営費
(活性化センター運営費、**土壌分析機器(原子吸光度計)更新【新規】**、**活性化センタートイレ改修【新規】**)
- ★特産物振興対策
- ★土づくり対策



畜産費 6,516千円

- ★畜産振興対策
(酪農ヘルパー事業、草地改良事業補助、受精卵移植事業補助)
- ★農家経営安定対策
- ★公共育成牧場対策
(三和牧場運営管理費、国有林野借上料)

土地改良費 126,908千円

- ★道営事業
(和寒中央地区地域水田農業支援緊急整備事業、和寒北地区経営体育成基盤整備事業、第1幹線地区新農業水利システム保全整備事業、菊野西地区畑地帯総合整備事業、**西和地区ため池等整備事業【新規】**、**剣和幹線地区基幹水利ストックマネジメント事業**)
- ★農地・水・環境向上対策事業
- ★国営造成施設管理体制整備促進事業

林業振興費 20,611千円

- ★林業振興事業
(21世紀北の森づくり推進事業補助、除間伐事業補助、基幹作業道東和線開設事業)
- ★有害鳥獣捕獲推進事業
鳥獣被害防止対策事業【新規】
(ヒグマ捕獲檻、アライグマ箱ワナ)

町有林管理費 13,772千円

- ★町民植樹祭
- ★町有林整備事業

商工観光関係

雇用対策

不況により日本の経済情勢は厳しい環境が続く中で本町においても商店や工場の閉鎖があり、新たな雇用も難しいことから引き続き単独で実施しています「特別雇用対策事業」と国の制度を利用した「緊急雇用創出推進事業」を実施して失業対策を進めて参ります。

商工関係

本年3月で期限を迎えます「中小企業経営安定化利子補給事業」は、消費低迷の中で経営環境は依然厳しい状況でありますので3年間延長し継続して町内企業の経営安定に努めて参ります。

また、課題となっております空き店舗対策でございますが、大通りには閉店により更地になっていくところもあり、深刻な事態となっております、その施策について検討をさせていただいておりますが、現状では問題解決にはいたっておりませんので、引き続き商工会と連携を取りながら検討して参ります。

観光関係

観光面では、観光協会が中心となり、各種イベントを計画・開催していただき、



んどこい・わっさむ夏まつり」や「極寒フェスティバル」など、町外からの来客数も毎年増加しておりますので、今後も趣向を凝らして皆さまに喜んでいただけるよう取り組んで参りたいと考えております。

商工観光関係の主な事業

商工業振興費 31,303千円

- ★商工会運営に対する補助
- ★商業振興協同組合補助
- ★商工業新規就業対策補助
- ★中小企業補償融資保証料及び利子補給補助
- ★商工業活性化融資利子補給補助
- ★中小企業経営安定化利子補給補助
- ★地場産業開発研究補助
- ★特別雇用対策事業
- ★緊急雇用創出推進事業

観光費 10,070千円

- ★全日本モトクロス選手権大会負担金
- ★各種モータースポーツ大会補助
- ★どんとこい！わっさむ夏まつり負担金
- ★観光協会補助
- ★全日本玉入れ協会補助

公園費 37,215千円

- ★三笠山自然公園・東山スキー場指定管理
- ★三笠山自然公園整備（看板塗装塗替）【新規】
- ★南丘森林公園運営管理
- ★塩狩峠記念館運営管理
- ★南丘森林公園整備（木道橋撤去）【新規】



保健福祉関係

保健福祉関係

21年度における、現在までの出生数は23名で対前年比7名の減となっており、65歳以上の人口では1月末現在1千533名で、占める割合は38.4%と、前年対比0.6%の伸びを示す結果となっております。少子高齢化が進行する中、市民の皆さまが健康で安心した生活を日々送っていただけるよう意を新たにしているところであります。

保健・医療・福祉・介護等を取り巻く国や道の施策も、年々複雑さを増し、財政的にも大きな負担増となっている状況下にあります。重点政策の一つとして掲げております子育て支援につきましては、その核となります「子育て支援センターこども館」を22年4月から開館し、時代を担う子どもたちが健やかに成長していただくために、多くの親御さんがこの施設を気軽に利用し、安心して子育てができるよう事業内容等を充実し、その管理運営に努めて参ります。更にソフト面では安心して子どもを生み育てるために、負担の軽減を図るべく保育料軽減対策として、3歳未満児の保育料を国の基準の

5割に軽減するなどとした保育所条例の一部改正を提案したところでもございます。

児童福祉関係

入所児童の減少が続く中、保育所機能の効率的な運営が求められることから、季節保育所を常設保育所に統合したく季節保育所条例の廃止を提案しているところであります。22年度の入所予定者は現在のところ98名となっております。子どもたちが健やかに遊び育ち、情操豊かな心を育む児童の育成に努めるとともに、21年度における一時保育事業では、現在まで延べ89名の利用となっておりますことから、22年度においても保護者の方々が緊急を要する場合の子育て支援策として事業の継続を実施して参ります。

なお、子育て支援センターと常設保育所との連携や一元化を図り、一層充実した支援体制ができるよう実施します。連絡通路の設置並びに保育所改修の整備内容につきましては、その設計業務を21年度補正予算対応で取り組むことといたしましたので、設計が整った次第予算措置を行う考えであります。

国は従来の児童手当に変わり、新たに次代の社会を担う子どもの成長及び発達に資す

ることを目的に、22年度から対象を中学生修了まで拡大した子ども手当を創設したことから支給に必要な予算措置をさせていただきました。

保健関係

保健関係では、健康で安心して生活が送れるよう、可能な限りの疾病予防に努め、早期発見時の治療につながるよう各種健診事業を推進しており、法的に実施が義務付けられております。「特定健診・特定保健指導実施事業」の充実を図ることは勿論であります。個別健診につきましては従来どおり町立和寒病院で実施をし、集団健診につきましては前年同様町内数箇所で行い、受診していただく町民の方々に申し出るだけご不便をかけないよう配慮して参りたいと思っておりますので、ご理解をお願い申し上げます。

21年度、国の補助事業に単独事業を合わせ、実施をいたしました「女性特有のがん検診無料化事業」につきましては、受診数の増加が見られることから、がんの早期発見・治療につながるよう、23年度まで継続して実施をいたしたく、「健康診査手数料条例」の一部改正を提案しているところであります。

保健福祉関係の主な事業

高齢者等福祉 214,748千円

- ★高齢者共同福祉住宅運営費
- ★道北バス利用者運賃助成
- ★高齢者事業団育成事業
- ★老人クラブ連合会補助事業
- ★寝たきり老人等介護手当
- ★認知症老人介護手当
- ★緊急通報装置設置
- ★在宅福祉事業委託
- ★ふれ愛住宅補助
- ★長寿祝金
- ★訪問介護サービス自己負担金軽減補助
- ★介護保険特別会計繰出金
- ★後期高齢者医療療養給付費負担金
- ★後期高齢者医療特別会計繰出金
- ★高齢者健康診査業務委託

障がい福祉 102,838千円

- ★地域生活支援事業委託
- ★重度障がい者ハイヤー料金補助
- ★社会福祉施設等通園費補助
- ★身体障がい者補装具補助
- ★地域生活支援事業日常生活用具給付
- ★重度心身障がい者等医療費給付
- ★障がい者の明るいくらし促進事業
- ★障がい者自立支援給付費
- ★精神障がい者医療費給付
- ★障がい者自立支援医療費
- ★身障者用トイレ改修

児童福祉 121,845千円

- ★常設保育所運営
- ★子育て支援センター運営【新規】
- ★子ども手当【新規】
- ★児童手当
- ★医療給付費
- ★一時保育事業
- ★障がい者自立支援給付費
- ★心身障がい児こども通園施設運営負担

その他の福祉 73,030千円

- ★福祉団体補助
- ★社会福祉協議会運営補助
- ★国民健康保険特別会計繰出金

保健の向上、維持増進 355,555千円

- ★母子保健事業
- ★歯科保健事業
- ★成人保健事業
- ★予防接種
- ★上川北部地域第2次救急医療事業
- ★ヘルシーライフ普及啓発
- ★組織育成
- ★保健福祉センター運営
- ★訪問看護事業
- ★町立病院事業会計繰出金



住民関係

衛生関係

ごみ処理につきましては、町民の皆さまにご理解ご協力をいただきながら、ごみの分別とリサイクルの推進に努めているところでありますが、引き続き、効率的なごみ処理行政を進めるとともに循環型社会を目指して、ごみの排出抑制や再利用の指導徹底と啓蒙普及に努めて参ります。また、1市2町で十分協議協力しながら運営しております、広域生ごみ処理場は稼働より8年が経過し機械の損耗が見受けられることから、練り機の更新のため所要予算を計上いたしました。

住民関係の主な事業

環境衛生費 128,218千円

- ★保養センター管理運営
- ★葬斎場・墓地管理運営
- ★衛生害虫駆除補助
- ★水質保全事業補助
- ★簡易水道事業特別会計繰出金
- ★公共下水道事業特別会計繰出金



- ★リサイクルセンター管理運営及び資源ごみ収集業務委託
- ★リサイクルセンター整備【新規】
- ★し尿収集及び処理業務委託事業
- ★資源ごみ広域処理場管理運営

塵芥処理費 47,864千円

- ★一般廃棄物埋立処分場管理運営及びごみ収集業務委託
- ★広域生ごみ処理場管理運営（管理運営費・練り機取替工事【新規】）

清掃総務費 28,301千円

- ★公衆トイレ清掃管理

建設関係

土木・公営住宅関係

土木関係では、地方特定道路整備事業として、20年度から3か年で計画しました「西町・若草南1丁目通り」につきましては最終年度となり、新たに「運動公園通り」、さらに単独費で昨年度に着手しました「2号道路」も含め、いずれもバリアフリー化した路面整備を実施して参ります。

本年度への繰越明許費として地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業の補正をお願いしております。「西3条通り」の路面改修、「中和5号道路」と「川西16線道路」の路面補修及び「若草団地混在型公営住宅」の外壁と屋上の改修工事につきましては適宜、早期発注に努めて参ります。

旭川土木現業所所管事業

道道と寒幌加内線につきましては、三和牧場道路から西和5線までの約1.7キロメートル区間で、三和工区と同じ車道幅員とした拡幅工事を22年度に用地補償を行い、23年度以降に本工事を進めたいとのことであり参ります。また、福原入口にあるペオツペ橋の架替工事を22年度と翌年度の2か年で実施を予定している

とお聞きしております。

1級河川改修事業のうち剣淵町との境界になります大成の6線川改修につきましては、21年度において大成「4号橋」の実施設計を行ったことから、22年度におきましては同橋の架替工事が施工される経費を河川管理者である北海道が2分の1、道路管理者の和寒町と剣淵町がそれぞれ4分の1の負担となり、また、上流にある大成「瑞穂橋」につきましては、本年度に実施設計にかかる事業費の4分の1を事業負担金として計上いたしました。

剣淵川についてであります。22年度から暫定断面により道道鷹栖線「豊岡橋」から上流約600メートルを掘削し築堤の造成を進め、さらに18線道路「花月橋」の架け替えを単年度で完成の見込みと伺っております。



建設関係の主な事業

道路維持費・新設改良費 158,456千円

- ★町道除排雪事業
- ★町道維持管理事業（若草南1丁目通り、2号道路、運動公園通り路面改修）

町道改修整備事業（5号道路、16線道路路面改修）【新規】、町道バリアフリー化事業（西3条通り路面改修）【新規】、公営住宅改修事業（若草団地公住外壁等改修）【新規】は平成21年度繰越明許費として計上し、平成22年度の実施となります。



総務関係

第5次総合計画

21世紀に相応しいまちづくりに対応した町政運営を進める指針として策定した「第4次和寒町総合計画」は本年度をもって終了いたしますことから、昨年12月開催された総合計画審議会において「第5次総合計画」の策定について諮問したところであり、小さな町にあっても住むことに誇りと希望に満ちた「協働のまちづくり」を進めるための指針となる次期計画を町民参画の機会の確保に努めながら策定作業を進めて参ります。

行政改革大綱

22年度をもって終了します「第3次和寒町行政改革大綱」は、単独の道を選択した和寒町が和寒町であり続けるための道標として策定し、経費の節減や事務事業の効率化を図り、住民自治を高める仕組みづくりに取り組み多くの成果を収めて参りましたが、行政改革は不断の取り組みとして引き続き取り組む必要があり参りますことから、これまでの5年間の成果と課題を検証したうえで、今後の行政運営に求められる行政改革の有るべき姿をまとめて参ります。

画 過疎地域自立促進市町村計

この3月末で期限が切れる「過疎地域自立促進特別措置法」につきましては、終了後の新しい過疎対策法の制定が検討されておりましたが、過疎法の延長期間を6年とする改正案が今国会に提出される見込みでありますことから、その詳細を見極めながら新しい制度によります市町村計画を検討して参ります。

国勢調査

22年度は国が行う5年に一度の国勢調査の実施年にあたりますことから、統計調査員の方々のご協力を頂きながら、10月1日の調査日に向けた準備を進めて参りますが、調査にあたっては町民皆さまのご理解とご協力が必要でありますのでPRに努めて参ります。

地上デジタル放送

来年7月の地上デジタル放送移行に備え、公共施設におけるテレビデジタル化改修及び福原等の難視聴地域における受信環境の整備を進めて参りましたが、今年度につきましても、地域の難視聴世帯の解消を図るべく西和サテライト局の改修と新たな難視聴世帯対策として電波受信障害解消補助により対策を講じて参ります。



交通安全

交通安全の推進につきましては、北海道において5年連続して交通事故死全国ワーストワンを返上するという成果を上げるとともに、土別署管内初の交通事故死ゼロを達成するなど交通安全運動の積極的な展開が大きく貢献しているところであり、今後も、各関係機関の協力をいただきながら、悲惨な交通事故を「起こさない・遭わない」を合い言葉に、啓発強化に努め交通安全対策を推進して参ります。

総務関係の主な事業

一般管理費 34,694千円

- ★総合健診事業
- ★総合行政情報システム推進事業
- 公会計導入事業【新規】
- 総合行政情報システム備品購入事業【新規】
- 自動車購入事業【新規】
- ★現行法令インターネット接続

財産管理費 3,910千円

- 不用老朽建物除却事業【新規】
- 庁舎正面玄関手すり設置工事【新規】
- 町営住宅防災（火災）警報器設置工事【新規】

企画費 51,324千円

総合計画策定【新規】

- ★ふるさと会報債
- ★交流施設管理業務
- ★空き住宅等調査委託
- ★わっさむふるさと交流委員会負担金
- ★移住体験事業負担金
- ★賃貸住宅建設補助

交通対策事業費 8,062千円

- ★町営バス運行業務委託事業
- 諸費 61,373千円
- ★自治会関係
- 地上デジタル難視聴解消事業【新規】
- 省エネルギー促進支援事業【新規】

- ★生活安全推進会議
- ★交通安全指導員報酬
- ★担い手結婚祝金
- ★防災無線関係
- ★交通安全啓発事業

選挙費 7,171千円

- ★参議院議員選挙【新規】
- ★知事・道議会議員選挙【新規】

統計調査費 3,575千円

- ★国勢調査
- その他 700千円
- ★にれっこ祝金

全国瞬時警報システム構築事業【新規】、自治会館修繕事業【新規】は、平成21年度繰越明許費として計上し、平成22年度の実施となります。

歳入

町税

町政の執行に貴重な自主財源であります町税につきましては、個人町民税において、現在確定申告の期間中で所得の取りまとめを行なっておりますが、昨年の天候不順による農業所得の減収が見込まれ、前年度と比較して4%の減収を見込んでおります。

法人町民税は、所得割の増収が見込まれ、固定資産税の土地、償却資産については前年並み、家屋については新築家屋による増収を見込み、軽自動車税については微増、たばこ税は禁煙者も増加傾向にあります。今年10月から単価の見直しが見込まれることから、増収を見込んでおります。

以上のとおり、町税全体では、対前年比1%、254万4千円の増となっております。が、住民の行政要望にこたえていくうえで、公平かつ適正に納税者のご理解をいただきながら、信頼を得られる税行政に努めて参ります。

国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計は、保険財政共同安定化事業拠出金等の減により前年度より7.9%、5千550万円の減額予算となりましたが、保健事業の特定健康診査に係る個人負担を前年同様に無料とすることとしており、医療費につきましては年々増加傾向にあることから、疾病の早期発見、早期治療、予防活動に積極的に努め、保険税につきましては、昨年の冷害を考慮し、これまで蓄積してきた基金等により据え置いたところですが、基金残高の減少並びに町財政も厳しい状況にありますことから、税負担の方向性について、国保運営協議会で十分ご協議をいただきながら、安定的な国保事業の運営に努めて参ります。

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療特別会計は、低所得者の保険料を軽減する措置は継続となりましたが、今後の保険料率改定につきましては、現状引き上げの方向であり広域連合での決定次第お知らせを参りますので、ご理解を賜りますよう

お願い申し上げます、老人保健特別会計につきましては、21年度をもって廃止をしますことから関連する条例の一部改正について提案をしておりますのでございます。

簡易水道事業特別会計

本町の簡易水道事業は使用開始以来、給水区域拡張等にかかる認可変更を行い、現在は第4次認可を受けているところでありますが、施設建設から40年以上経過した現在、東丘浄水場の配水池の一部が老朽化するなど、施設の更新が必要となっておりますことから、給水状況の把握や給水人口の見直し、浄水場施設の容量・規模の検討など、「認可変更業務」にかかる所要予算を計上しております。

公共下水道事業特別会計

公共下水道事業特別会計につきましては、供用開始から20年以上が経過し、現在の第7次認可計画が22年度をもって終了しますことから、認可年次の変更とともに終末処理場施設の機械設備等の検討や処理面積・処理人口等の見直しのため、同じく「認可変更

業務」に係る所要予算を計上いたしました。

介護保険特別会計

介護保険事業

介護保険特別会計では、現在の被保険者は1千502名で、対前年比では2名の減となっておりませんが、要支援・要介護の認定者は267名で12名の増となっております。また、居宅サービス利用者につきましては、訪問系サービスの増加に比べ、通所系サービスでは、わずかですが減少傾向にあります。

施設介護サービスは72名が利用している実態、並びに認知症高齢者のグループホームの入所実績を踏まえ、更には今後の利用者の動向や推移なども勘案し、本年度予算を積算したところであります。

芳生苑・健康苑関係

芳生苑・健康苑の管理運営を指定管理者制度により社会福祉協議会に移行して3年目を迎えるようとしているところであります。入所者並びにその家族の方々には、これまでと同様安心して生活していただけるよう、管理者とともにサービスの充実と向上に努めて参ります。

また、消防法の改正により

設置が義務づけられましたスプリンクラーにつきまして、22年度に設置完了するよう配慮して参ります。



町立病院事業特別会計

昭和50年に建設した施設は、ご利用の皆さまにいろいろとご不便をおかけしているところでありませんが、本年度において病院増築改修工事を実施し、正面玄関やポーチ、トイレ、病棟浴室などを改修するほか、救急搬送玄関を南側に増築し、施設環境の向上を図り、併せて外壁補修や屋上防水シート張替え、窓枠改修などを行い施設の整備、維持に努めて参ります。

更に電子カルテシステムを導入することとしており、こ



のシステムは、診療情報を電子化・一元化するもので、診察や検査などを正確に効率良く行うことができ、これまで以上に各スタッフが情報の共有化を高める等、患者様の医療サービスの充実に努めて参ります。

21年度の経営状況については、21年度予算から収益的収支の均衡化予算措置をしておりませんが、黒字決算となる見込みであり、今後とも経営改善に努め、適切な医療の提供を行うよう研鑽して参る所存であります。

特別会計関係

国民健康保険特別会計	643,000千円	更委託【新規】	
簡易水道事業特別会計	88,724千円	後期高齢者医療特別会計	48,000千円
簡易水道事業変更認可業務委託【新規】		介護保険特別会計	579,148千円
漏水調査委託【新規】		芳生苑スプリンクラー設置工事【新規】	
ろ過砂洗浄入替業務委託【新規】		国民健康保険町立病院事業特別会計	821,829千円
花月橋水道管橋梁添架工事【新規】		電子カルテ等医療機器整備【新規】	
公共下水道事業特別会計	134,997千円	病院増築改修事業【新規】	
公共下水道事業全体計画見直し及び許認可変			

平成21年度繰越明許費関係

平成21年度繰越明許費	124,161千円	小学校外構整備事業【新規】	3月補正
全国瞬時警報システム構築事業【新規】	12月補正	地域体育館整備事業【新規】	3月補正
自治会館修繕事業【新規】	3月補正	保育所改修事業【新規】	3月補正
町道改修整備事業【新規】	3月補正	子ども手当支給準備事業【新規】	3月補正
町道バリアフリー化事業【新規】	3月補正	新型インフルエンザワクチン接種事業【新規】	3月補正
公営住宅改修事業【新規】	3月補正		

：国の地域活性化・きめ細かな臨時交付金等
：町単独費を活用し、平成21年度の繰越明許費として、平成22年度の実施となります。
繰越明許費とは：性質上または予算成立後の事由に基づき、年度内にその支出を終わらない見込みについて、予算議決を経て翌年度に繰り越して使用することのできる経費

教育関係につきましては、後ほど教育長が執行方針で述べますが、道立和寒高等学校が6日に閉校式典を行い、60年の幕を閉じることになり、遂に来るべき日が来たわけでありまして、一抹の寂しさを禁じえないところであります。

残された施設につきましては和寒中学校として生まれ変わることが決定しており、道の外壁改修工事と合わせて、中学校として活用しやすいうように、内部改修工事を早期に実施する方向で当初予算に計上すべく準備を進めてきたところであります。大規模改修に伴う国の補助金が大変厳しい状況にあり、先行き不透明との情報から、当初予算では見送らせていただき、財源の方向性がある程度見極められた段階で対応し、2学期終了時点でのスムーズな移行に向け鋭意努力して参ります。

和寒小学校改修工事につきましては、外構工事を残すのみとなっておりまして、関係予算につきましては、21年度の国の2次補正予算で臨時交付金事業に盛り込み、早期に着工、完成を目指し、3年の歳月をかけた安全で安心な学校づくり事業が完了いたしますが、これまで改修事業にご奔走いただきました父母をはじめ関係者の皆さまに深く感謝申し上げる次第であります。

以上、平成22年度の町政執行に臨む所信の一端を述べてさせていただきます。

昨年は本町にとって記念となる「わっさむ110年」を迎え、町民の皆さまとともに110年を祝い本町の更なる継承発展を誓った節目の年となったところであり、加えて鳩山首相が掲げます「地域主権」改革を今年から本格的に展開するとしており、今後益々、町民参画と協働のまちづくりによる「自分たちのまち」の構築が求められて参りますが、今年4月から施行されます「自治基本条例」は正にそのために必要な最高規範でありますので、これら条件が整ったこの機を「自分たちのまち」を創る絶好の出発点と位置付けし、町民の皆さまが元



気に生き活きた暮らしが営まれるよう粉骨砕身取り組んで参る所存であります。

とりわけ2期目のスタートの年となります本年は、今後、「担い手後継者対策」と「代替エネルギーの事業化」に向けた制度・事業内容が構築されますことから、これら事業をおして新たな雇用の確保や地域産業の活性化を図るべく、勇気を持って取り組んで参る所存であり、今後職員と一丸となつて、元氣な「郷土和寒」の実現のため最大限の努力をして参りますので、町民の皆さまをはじめ、議会並びに行政執行機関の皆さまの一層のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

執行方針いたします。

教育行政執行方針



教育長 星 護

平成22年第1回和寒町議会定例会の開催にあたり、和寒町教育委員会所管の教育行政執行方針について申し上げます。

今日の社会を取り巻く環境は、国際化、情報化がより一層進展するとともに、少子高齢化の進行、そして政権交代による様々な社会構造の変化は、私たちの暮らしの中にも少なからず影響を及ぼしておりますが、その中にあります。郷土「和寒」に暮らす町民一人ひとりが真に「健康で生きがいのある明るく人間性豊かな生活」を営み、ゆとりと潤いのある「心の充実」を実感し、創造的で活力のある生涯学習社会を築いていく

ことが求められております。

教育委員会といたしましては、どのような時代におきましても、未来を託す子どもたちの、健やかな成長を育むことは、大変重要なことであります。ことから、恵まれた自然環境や地域の特性を最大限に活かしながら、確かな学力の育成と豊かな人間性を育むために、学校はもとより地域全体で子育て支援や子ども教育に取り組むことが大切であると考えております。

また、少子高齢化が一段と加速すると同時に、人口の流出に歯止めがかからない中にあることも、町民の一人ひとりが生涯を通して個性や能力を伸ばし、健康で充実した生活を送ることができるよう、学校・家庭・地域の連携を強化し、学校教育・社会教育・社会体育の振興により、「創造性豊かに、未来を切り拓き、たくましく生きる力」を育むために、多様な学習の形成や、教育機能の充実、振興を図るとともに、教育環境の整備に努めながら、今年度の教育行政を推進して参ります。

学校教育

学校教育の推進

次代を担う児童・生徒一人ひとりが、自ら考え学ぶ主体的態度や創造性を育むとともに、命の大切さ、思いやりや感謝の心を養うなど、確かな学力を身につけ、豊かな心を育み、健やかでたくましい心身の発育を目指して参ります。

確かな学力の定着

1点目の、確かな学力を身につけるためには、基礎的・基本的な知識、技能の習得や学習に対する意欲や関心を高め、これらを活用する思考力、判断力、表現力を育むことが課題であります。

これまで実施されてきました全国学力・学習状況調査の内容を検証し、改善プランに基づき教職員の資質の向上を図るために、町教育研究会や校内研究会の積極的な推進により、全教職員共通理解に立つて、児童、生徒一人ひとりに対し、わかる喜びが実感できる授業、自ら進んで学ぶ意欲を持たせる授業の実現に努めて参ります。

豊かな心の育成

2点目の、豊かな心を育むためには、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高めることが大切であり、読書活動を通

して身につくものも大きいと考えておりますことから、全校一斉朝読書の推進や、町立図書館の積極的な活用を図って参ります。

また、道徳教育や体験学習を通して社会のモラルや規範意識の向上を図るとともに、学校、家庭、地域の連携した取組により、公共心や他人を思いやる心の育成に努めて参ります。



健やかでたくましい心身の育成

3点目の、健やかでたくましい心身の育成につきましては、少子化やコンピュータ機器の導入などにより、全国的に一日の運動量は減少し児童、生徒の体力は徐々に落ちており、体力の低下は学力の低下にも繋がっているとされており、学校が保

わりによって、継続したスポーツ活動が実践されるよう取り組んで参ります。

また、心と体を鍛える基となる「食育」の重要性を認識し、発達段階に応じた食に関する学習や、家庭と連携した望ましい食習慣の充実を図って参ります。



教育環境の整備

第1に、学校は、常に安心・安全で信頼される学校でなければなりません。そのため基本となるのが学校評価と情報公開であり、父母や地域の理解と協力により成り立つものであると考えております。学校は内部評価、保護者等のアンケート調査による外部評価、学校評議員制度の活用により学校運営等の改善に努めており、教育活動や学校経営の積極的な情報公開に努めて参ります。学校が保護者や



社会に対して積極的に説明責任を果たすことが相互理解と信頼に繋がり、保護者や地域住民の学校運営への参画を促進し、地域に支えられた開かれた学校運営を図って参ります。

第2に、小中学校の連携についてであります。小中学校が連携した教育の推進につきましては、既に、「和寒町小中学校連携スクラム協議会」が設置され、9年間の見通しに立つた義務教育の充実を目指し、「生きる力」を育み、「豊かな人間性を育てる」とを基本理念に連携が図られており、一昨年からは、児童生徒が一体となったボランティア活動に加え、中学校教師による小学校への出前授業を実施するなど、大きな成果を挙げてきておりますが、より一層の充実を図るために必要な支援をして参ります。

第3に、特別支援教育についてであります。支援を必要とする児童生徒に対して、一人ひとりの状態に応じた教育実践のため、和寒町特別支援教育連携協議会を中心に、実態の把握や、支援方策の検討、個別の指導計画の作成に取り組むなど、適切な情報の交換を行い、児童生徒の自立と社会参加を目指した教育の充実を図って参ります。

また、小学校では今年度新たに19名の新1年生が入学されますが、1年生にとつては学校生活に不慣れなため、日常生活の不安払拭や、学級経営が不安定に陥ることのないよう、引き続き、特別支援教育支援員を配置し、楽しく、より良い学校生活が送れるよう、体制づくりをして参ります。

第4に、外国語指導助手派遣事業につきましては、英語学習が小学5年生からの必須となることに対しても大きな成果が得られると同時に、児童生徒が直接英語に触れ親しみ、自然体で習得する楽しさを持ちながら学んでいくことが大切でありますので、引き続き、幌加内町と連携し、本事業を継続して参ります。

第5に、心の教室相談員についてであります。平成10年度から中学校に配置しており



ました心の教室相談員につきましては、ここ数年の状況から相談の実態がなく、相談員や学校側から一旦事業休止の声があり、教育委員会議でも議論を重ねた結果、教師と生徒のきめ細かな信頼関係を築き、家庭・生徒・教師の絆をより一層深めることに力点を置いて、解決を図っていく事としました。

また、学校以外でも相談できる体制を構築したく、早急に検討して参ります。

第6に、学校給食と食育についてであります。学校給食につきましては、食材をはじめ衛生管理や、安全で安心な給食の提供に努められるよう、土別市学校給食センターと十分連携を図って参ります。

食育につきましては、児童生徒の心と体の健全な発育に

は、望ましい食生活を身につけることが不可欠でありますので、学校給食センターからの栄養教諭の派遣を受け、児童の食に対する理解を深めるとともに、バランスの取れた食生活を実践するためには、保護者の理解と協力が大切でありますので、積極的に情報を提供しながら、学校と保護者、学校給食センターが連携し、食育の推進に努めて参ります。

第7に、学校支援地域本部事業につきましては、地域のボランティアが、学校の様々な活動を支援することにより、教師が子どもたち一人ひとりと向き合う時間の確保を目的に、和寒町学校支援実行委員会を設置し、現在70数名の方にボランティア登録をいただき、学校の求めに応じて本事業を推進しているところ



であります。学校と地域ボランティアの相互の理解を大切にし、多くの地域の皆さまに支えられながら学校支援地域本部事業の充実が図れるよう、努めて参ります。

教育施設の整備

町長の執行方針でも述べられておりましたが、平成20年度から進めて参りました和寒小学校改築事業も3年目を迎え、残っております外構工事の整備は、最終年となり平成21年度の国の第2次補正事業で予算措置がなされましたことから、新年度早々に着手することが出来、校舎、体育館の周囲全ての整備が終わることになります。

これまで本事業に携わっていただきました、議会の「和寒小学校改築調査特別委員会」の皆さま、教師や父母の



「和寒小学校改築懇話会」の皆さまをはじめ、多くの関係者の皆さまに、心からお礼申し上げますとともに、深く感謝申し上げます。

今後は、施設の持つ教育機能を有効に活用し、学年やクラスの垣根を越えた交流事業が展開されるよう、十分配慮して参ります。

和寒中学校移転

和寒中学校の和寒高等学校跡地への移転につきまして、道教育委員会の屋根、外壁改修塗装等工事が内定しており、その完成後に和寒町への施設譲渡となり、その時期は12月初旬の予定であり、中学校の移転作業は、2学期の終了時として進めているところであります。

中学校として使用するための内部改修等につきまして

は、実際に使用する先生方の意見や要望を取りまとめ、実設計を進め、文部科学省の大規模改修事業交付金の申請をしているところでありますが、文部科学省では、全国的に耐震化事業の申請が多く、大規模改修に対する補助は大変厳しい状況にあるとの情報から、現時点での予算措置は大変難しく、ある程度財源の方向性が出た段階で予算措置をし、施設の譲渡までには事業が完成するよう進めて参ります。

改修工事以外に係る備品や、移転等の予算につきましては、内容を十分詰めながら、今後、補正で措置して参ります。

中学校跡地活用

移転後の中学校跡地活用については、広く町民の皆さま



のご意見や情報を頂き、有効活用について検討したく、新年度早々に「和寒中学校跡地活用検討委員会」を設置し、進めて参ります。

札幌自由が丘学園三和高等学校

和寒町が認可しました、株式会社札幌自由が丘学園三和高等学校は、開校2年目を迎えますが、1年目の今年は、夏と冬の2回、和寒の自然や行事をスクーリングのフィールドとして十分に活用され、大きな成果を収めているとのご報告も頂き大変喜ばしく思っているところであります。

2月19日には、札幌自由が丘学園三和高等学校運営評議委員会が発足に向けた検討会議が行なわれ、学校の適切な運営の基本方向も検討されま

したので、札幌自由が丘学園三和高等学校の更なる発展に期待しますとともに、今後とも積極的に協力をして参ります。

社会教育

社会教育の推進

社会教育の推進につきましては、第6次和寒町社会教育中期振興計画の最終年度を迎えることから、この5年間の推進状況を検証し、反省と評価を行い、しっかりと課題を掘り起こし、町総合計画と整合性を図りながら第7次中期振興計画の策定に取り組んで参りたく、関係予算を計上しております。

社会教育は、町民が余暇を活用し生涯にわたって自己の知識を高め、豊かな心を育み、健康の維持増進や生活文化の向上、社会福祉の増進を図るため、良質な情報の提供や、学習環境の整備充実が求められております。

公民館

生涯学習活動の拠点として公民館の果たす役割はより大きなものになり、その責務の重大さを認識し、家庭や学校、自治会や関係団体・機関と連携しながら、町民の皆さんが必要としている各種講座

の開催や、芸術文化公演会の開催、地域の求めに応じた学習環境の提供に意を用いて参ります。

なお、5月21日(金曜日)には、札幌交響楽団創立50周年記念事業として、フルメンバー60数名による「札幌交響楽団和寒ジュニアクラシック」コンサートが総合体育館を会場に無料で開催されることになりました。また、11月21日(曜日)には、公益財団法人三井住友海上文化財団主催の「地域住民のためのコンサート」として、NHK交響楽団トップメンバーによります室内楽団の公演会が公民館恵み野ホールで開催することが決定しており、児童生徒や町民の皆さんに喜んでもらえるよう準備に万全を期して参ります。



恵み野ホール自主企画事業につきましても、町民の皆さんの芸術・文化に親しむ機会の充実のため、芸術文化公演実行委員会と連携を図り、事業を展開して参ります。併せて、地域に根ざした芸術・文化活動の推進のため、文化団体連絡協議会や関係機関と連携を密にしながら、振興発展に努めて参ります。

未来を拓く人づくり

新たな人づくり事業として、和寒町の未来の町づくりを担う児童・生徒を対象に、道外や海外での研修をはじめ、国際交流事業などに積極的に参加を促し、必要な経費の一部を助成する「和寒町未来を拓く人づくり推進事業」を展開し、子供たちの広い見識と豊かな感性や国際感覚を育み、地域の振興と活性化を図って参ります。

図書館

図書館につきましても、町民の皆さんの生涯学習拠点施設として大きな役割を持っており、図書資料の整備充実を図っているところであります。蔵書数では現在8万2千冊の規模となっており、町民の方々の世代層に沿った学習意欲を支援するべく、図書資料の計画的導入や新しい情報収集に努め、町の広報誌を活用しながら新刊図書を紹介



や、自主企画事業の案内、学習情報などを掲載し、町民の皆さまが親しみをもって気軽に図書館を利用できるように運営に努めて参ります。

北原交流展示館

北原交流展示館は、オープン以来4年を経過しましたが、これまで和寒町にゆかりのある方々や、町内に居住する専門的芸術を有する方、各種サークルで技術を磨いてい



る町民の皆さんの作品など、多くのボランティアに支えられながら作品を展示し、町内外から足を運んでいただいております。関係の方々には深く感謝申し上げる次第であります。今後におきましても、これまでの流れを継承しながら、関係機関や各種団体等のご意見やご要望等をお伺いしアイデアを凝らし、企画力を高め、生涯学習の重要な役割を持つ施設として位置づけ、内外から親しまれる展示館づくりを目指して参ります。

スポーツ振興

スポーツの推進

スポーツの推進につきましては、町民一人ひとりが心身ともに健康で豊かな生活を育むことが大切であり、そのためには、生涯を通して「いつでも、どこでも、だれでも」がスポーツに親しみ継続されることが重要であり、昭和58年に宣言した「スポーツの町」に相応しいスポーツ環境の整備充実を図って参ります。

継続したスポーツ活動を展開するために、体育協会や関係団体と連携を図りながら、各種スポーツ教室の開催や、スポーツ指導者の育成を図つ

て参ります。また、世代間を超え、子どもから高齢まで若男女が日常的なスポーツ活動を通して交流を図り、誰もが気軽にスポーツに親しめる生涯スポーツの実現を目指し、日本スポーツ振興センターの助成を受けながら、総合型地域スポーツクラブ創設に向けた準備を進めて参ります。

各種体育施設

スポーツの振興に大きな役割を担う各種体育施設は、指定管理者制度へ移行し2年を経過しますが、大きな事故もなく利用者へのサービスの向上が図られており、指定管理者役職員の皆さまのご努力に感謝申し上げます。3年契約の最終年次を迎えることから、業務内容を検証し、更に利用者に喜ばれ



る施設としての機能の充実を図っていけるよう、指定管理者とともに努力してまいります。

責任体制の充実

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検評価」を行うことが規定され、教育委員会がより高い使命感を持って責任を果たしていくことが求められており、試行といたしまして、平成20年度の報告書を昨年11月に町議会に提出したところでありましたが、本年度からは試行結果を踏まえ、事務の管理及び執行状況について点検評価を行い、その結果を町議会に報告させていただき、効果的な教育行政の推進を図るとともに、町民の皆さまへの説明責任を果たして参ります。

教育関係の主な事業

事務局費 27,696千円

- ★教育特区学校審議会委員報酬
- ★外国語指導助手招致事業
- 中学校跡地利用検討委員報償【新規】**
- ★高校生徒通学費補助
- ★臨時バス・スクールバス運行業務委託

小学校費・中学校費 14,281千円

- ★小学校1年生入学祝い品贈呈
- ★小学校特別支援員配置
- ★学校管理委託事業
- ★教材備品整備（パソコン借上・教材備品）
- ★教育研究関係補助
（教育研究会補助・校内研究活動補助・総合的学習補助）
- ★中体連生徒派遣補助

社会教育総務費・公民館費・図書館費 20,627千円

- ★生涯学習推進事業
（公民館講座、青少年育成、女性他研修、高齢者研修、その他学習支援、**第7次和寒町社会教育中期振興計画作成【新規】**）

小学校外構整備事業【新規】、地域体育館整備事業【新規】は、平成21年度繰越明許費として計上し、平成22年度に実施となります。

和寒町未来を拓く人づくり推進事業【新規】

- ★文化活動推進事業
（恵み野ホール活用事業、NHK交響楽団公演【新規】、片栗庵活用、文化活動等支援、よさこいソーラン祭り北・北海道支部大会inわっさむ補助【新規】、北原交流展示館運営）
- ★図書館運営事業
（図書・視聴覚資料整備、読書普及促進）

保健体育費 74,325千円

- ★スポーツ振興推進事業
（体育指導員活動費、スポーツ教室事業、指導者育成事業、各種社会体育事業負担金、各種競技大会出場補助、体育協会補助、**総合型地域スポーツクラブ推進事業【新規】**、**B & G海洋センター外壁他改修事業【新規】**、スポーツ振興指導者養成事業、スポーツ施設管理事業）

学校給食費 25,270千円

- ★給食センター運営他負担金

平成22年度 町内教職員人事異動

（敬称略）

		よろしく申し上げます			お世話になりました		
学校名	職名	氏名	前任校	職名	氏名	転出校	
和寒小	校長	原 啓子	名寄市立名寄西小学校	校長	福井 幹則	定年退職	
	教諭	上村 純一	旭川市立永山南小学校	教諭	平田 考寿	東神楽町立東聖小学校	
	養護教諭	鶴岡 有貴	愛別町立愛山小学校	養護教諭	田中 裕子	旭川市立北鎮小学校	
和寒中	教諭	神林 明恵	富良野市立樹海中学校	教諭	澤田 歩	旭川市立聖園中学校	
和寒高				校長	小越 康雄	七飯高等学校	
				教頭	桂 玲子	退職	
				事務長	川岸 俊之	赤平高等学校	
				教諭	徳永 仁	旭川西高等学校	
				教諭	漆山 裕章	旭川商業高等学校	
				教諭	澤崎 真也	旭川東栄高等学校	
				教諭	小玉 昌宏	上富良野高等学校	
				教諭	根府 崇	旭川南高等学校	
				教諭	猪狩 真一	（再任用任期満了）	
				養護教諭	鈴木 裕子	旭川北高等学校	
				事務主任	土池 健吾	芦別高等学校	



クロイズアップ
今を生きる 人こそが宝
第18回

コーラス「これ」 会長 三浦 道幸 (みうら みちゆき) さん

明るく、楽しく、そして美しく 歌い続けたい

◆音楽との出会い

幼少の頃より音楽に興味があり、小学校時代に鼓笛隊で旭川の招魂祭に参加。吹奏楽など、そのスケールの大きさや音楽の素晴らしさを実感し、カルチャーショックを受ける。中学校、高校と吹奏楽でトロンボーンを演奏。大学時代は雅楽部で龍笛を学び、

学生時代のほとんどは音楽とともに過ごす。また、当時の

フォークソングにも影響を受け、バンドを組んで演奏するなど、音楽全般にわたって活動してきた。

■コーラス「これ」へ

昭和52年に帰町してから、ウインドオーケストラに

■コーラス「これ」の活動

昭和54年2月、歌を歌いたいの希望を持つ女性15人ほどが集まり、当初は女声コーラス「これ」として活動。その後、昭和58年に、男性も加わり、混成合唱団として生まれ変わり、そのレパートリーも30〜40曲を超える。現在は中学校教諭の永易先生が指導にあたってくれている。

愛唱歌の「津軽平野」は無伴奏（アカペラ）で歌われ、コーラス「これ」で長く親しまれてきた曲。そのほか、「箱根八里」「涙そうそう」「ふるさと」などが多く歌わ

れてきた。合唱団の構成は、ソプラノ、アルト、テノール、バスのパートに分かれており、曲に応じてそれぞれが担当のパートを受け持つ。

三浦さんは合唱の魅力について「美しく、やさしく、時には激しく力強く、聴く人に喜びと感動を与えられる」、また「気持ちの一つに集中させてハーモニーを響かせる

と、時に残響が聴こえる。その一体感を皆で味わえるのがたまらない」という。

■今年で30周年

コーラス「これ」は今年で30周年を迎えた。2月26日には記念コンサートも開催され、多くの町民を魅了した。

三浦さんは「明るく、楽しく、そして美しくをモットーに、元気で長く歌い続け、あたたかく、心のやすらぎとなるような活動を今後もしていきたい」と語ってくれました。



三浦 道幸さん[コーラス「これ」会長] 58歳
和寒町字東町 TEL 0165-32-4186

出身：和寒町字三笠

経歴：1964年 和寒小学校卒業 1967年 和寒中学校卒業
1970年 士別高等学校卒業 1974年 天理大学卒業（奈良県）
1977年 本町へ帰町

趣味：コーラス、ジャズ、楽器演奏など音楽全般

町職員人事異動

～ 3月31日付退職
お世話になりました ～ (敬称略)

平岡 繁一 (建設課長)
打田 幸江 (住民課長)
山本 彰 (建設課長補佐)
渡辺 信広 (総務課主幹)
波塚 喜代 (芳生苑主任介護員)
横田 幸子 (保健福祉課準職員)

うえ の かず やす
上 野 一 康 【農業委員会書記】



本年度から和寒町役場職員として勤めさせていただくことになりました。私は剣道、スキーなどのスポーツが好きです。それらを通じ住民の皆さまと積極的に関わりを持ち、早くこの町に慣れお役に立つことができるようがんばっていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

のり た ゆう き
乗 田 悠 希 【総務課主事補】



4月から和寒町の職員として勤務させていただくことになりました乗田悠希と申します。私は和寒町に住んだことはありませんが、両親の地元が和寒町ということもあり、幼い頃からよく遊びに来ており様々な思い出があるので、今後和寒町民の一員として生活するという事に喜びと期待の気持ちで一杯です。初めのうちはいろいろとご迷惑をお掛けしてしまうかもしれませんが、日々精進して、町民の生活のために、縁の下の力持ちになれるよう頑張ってお参りますので、これから長い期間ではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。



～ 4月1日付採用
よろしく願います ～ (敬称略)

さ とう だい
佐 藤 大 【住民課主事補】



4月から和寒町職員として勤務させていただくことになる佐藤大です。わからないことが数多くあり、皆さまにご迷惑をかけることがあるとは思いますが精一杯頑張り、様々な行事に参加して皆さまに親しみを持っていただきたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

く ほ た とし あき
久保田 俊 明 【産業振興課主事補】



4月より和寒町役場で勤務させていただくことになりました。今年で25歳とスタートが遅れた分、早く同年代の方々に追いつけるよう頑張っていきたいと思います。また、和寒町の職員として責任感を持ち、町民の皆さまと協働し、さらなる和寒町の発展に役立てればと思います。和寒町での生活は初めてで分からないことも多くありますが、様々な行事に参加し、町民の皆さまと接する機会を増やして少しずつ学んでいきたいと思えます。仕事や行事などで一緒する際はよろしくお願いいたします。

こ ばやし まい こ
小 林 真依子 【保健福祉課保健師】



4月から保健師として勤務させていただくことになりました。高校は旭川、大学は名寄で学びました。このたび道北の地和寒で働けることになり大変嬉しく思います。この町に早く馴染み、カボチャ料理・キャベツ料理が得意になりたいので、是非みなさん教えてください。町民のみなさまに親しまれる、明るく元気な保健師を目指しています。どうぞよろしくお願いいたします。

消防団人事異動

和寒町消防団に関する人事異動についてお知らせいたします。(敬称略)

1月10日付退団
団 員 石 田 雅 人

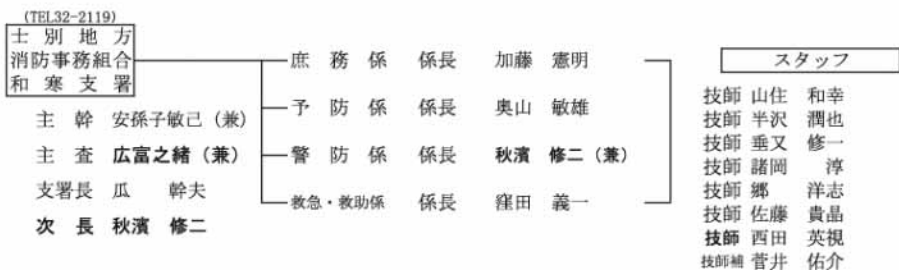
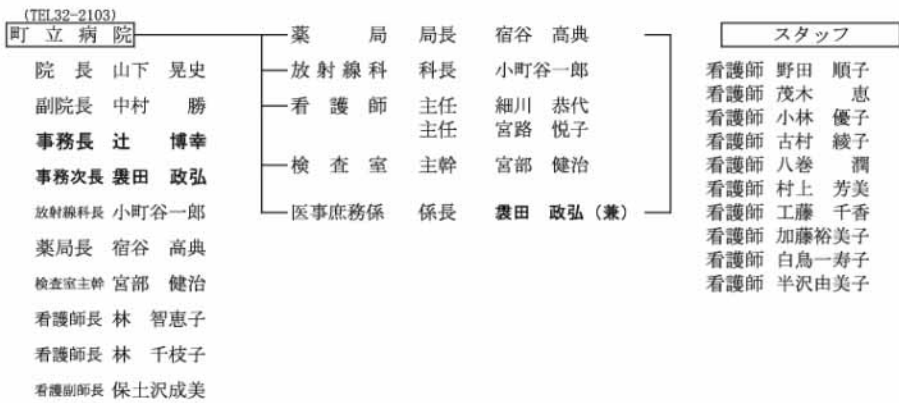
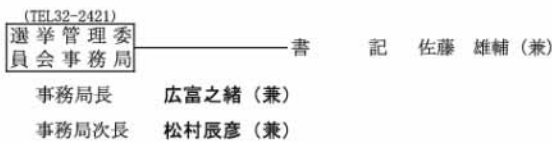
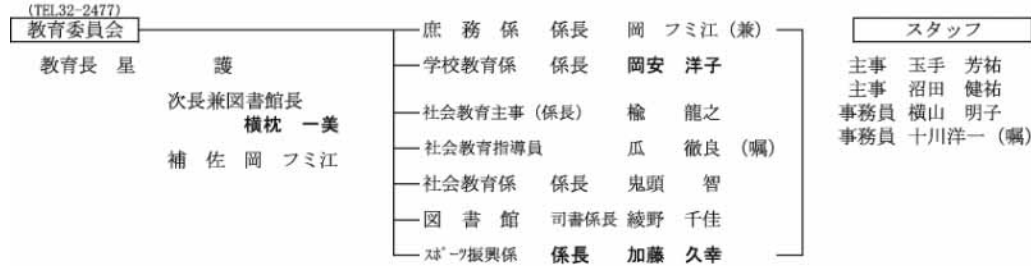
2月28日付退団
班 長 篠 原 寛
団 員 今 野 裕 二

3月31日付退団
副分団長 藤 村 信 夫
部 長 上 口 静 男

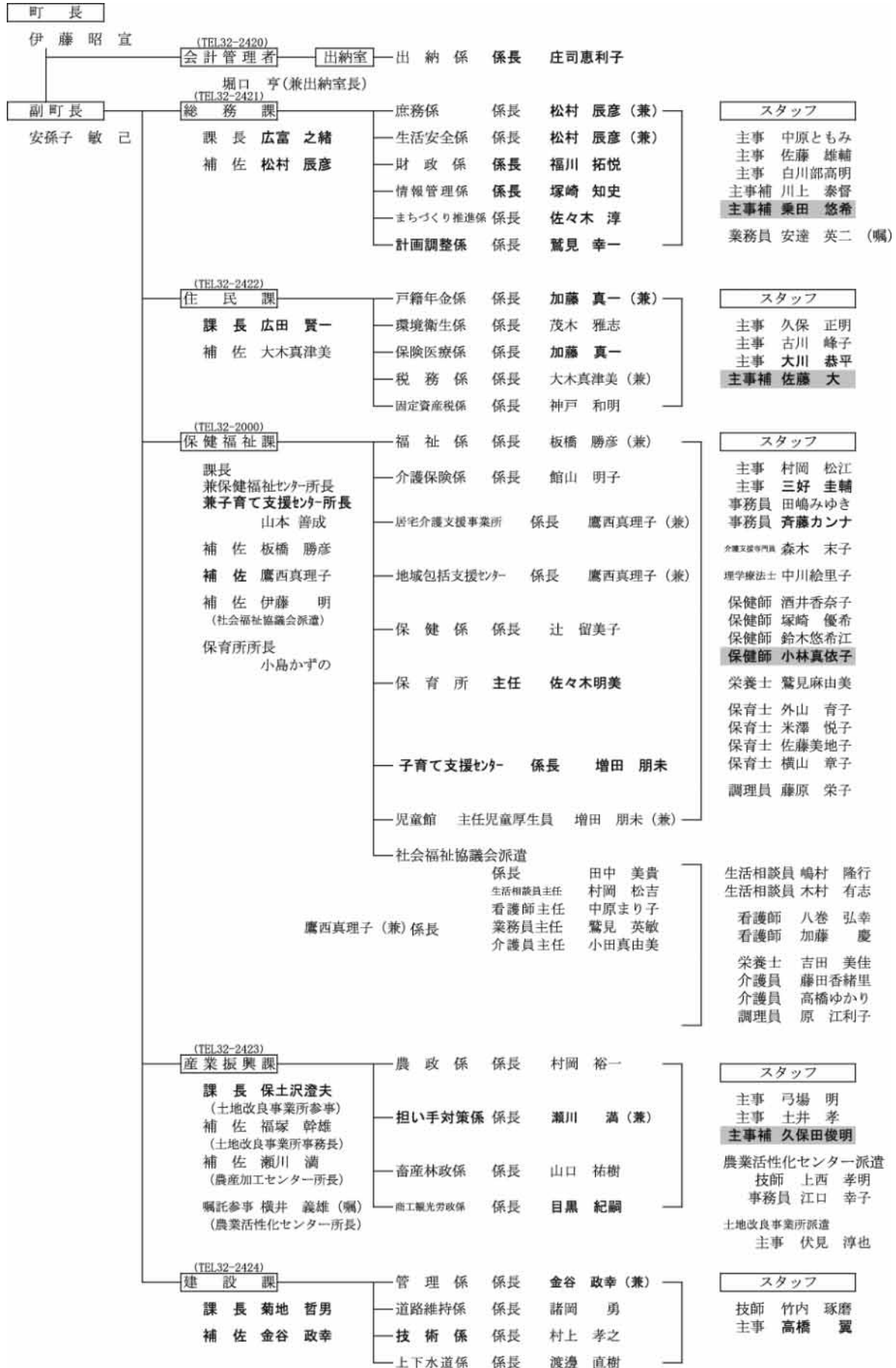
4月1日現在

氏名太字は異動者
網掛けは新規採用者

役職太字は昇格
係名太字は名称変更



役場組織一覽表

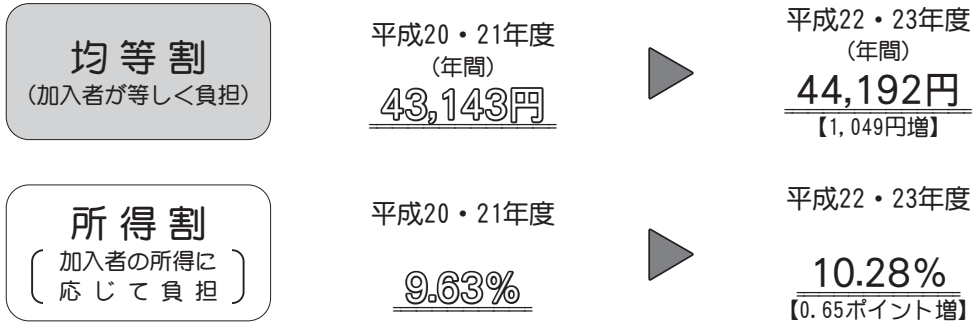


長寿医療制度(後期高齢者)医療制度のお知らせ

～ 保険料率が変わります ～

加入者（被保険者）の方にお支払いいただく保険料は、2年ごとに保険料率を決めることとなっております。

平成22・23年度の新しい保険料率をお知らせいたします。

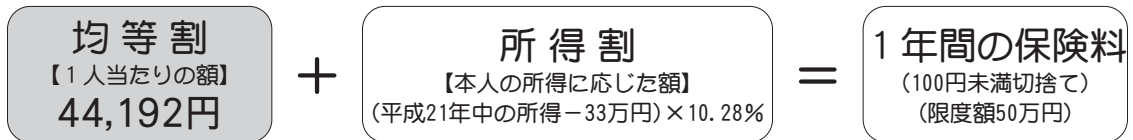


●保険料の計算方法（平成22年度）

保険料は、全ての加入者（被保険者）の方にかかります。

保険料額は、加入者（被保険者）が等しく負担する「均等割額」と、所得に応じて負担する「所得割額」の合計で計算します。

世帯主や加入者（被保険者）の所得に応じて、保険料の軽減があります。



※この保険料率に基づく平成22年度の保険料額は、8月に「保険料額決定通知書」により個別に通知します。

●保険料の軽減について

(1) 均等割の軽減 ～ 所得に応じて、均等割44,192円が以下のとおり軽減となります。

(軽減は、世帯の加入者全員と世帯主の所得の合計で判定します。加入者ではない世帯主の所得も判定の対象となります。)

所得が次の金額以下の世帯	平成21年度		平成22年度 均等割額	比較
	軽減割合	均等割額		
33万円かつ加入者全員が年金収入80万円以下で他の所得がない	9割軽減	4,300円	4,400円	100円増
33万円	8.5割軽減	6,300円	6,628円	328円増
33万円 + (24万5千円 × 世帯主以外の加入者数) ※単身世帯の方は該当しません。	5割軽減	21,571円	22,096円	525円増
33万円 + (35万円 × 世帯の加入者数)	2割軽減	34,514円	35,353円	839円増

※保険料の計算は、均等割額と所得割額を合算後に、100円未満を切り捨てます。

(2) 所得割の軽減 ～ 加入者個人の所得で判定します。

前年の所得から33万円を引いた額が58万円以下の方は、所得割が5割軽減となります。

例) 年金収入180万円の場合

*軽減判定 ⇒ 180万円 - 120万円(公的年金等控除) - 33万円(基礎控除) = 27万円(軽減に該当)

*所得割 ⇒ 27万円 × 10.28% × 5割 = 13,878円 <年間保険料のうち所得割額分>

(3) 被用者保険の被扶養者であった方の保険料の軽減

この制度に加入したときに被用者保険の被扶養者だった方は、所得割はかからず均等割が9割軽減となります。

被用者保険とは・・・

全国健康保険協会管掌健康保険や組合管掌健康保険、共済組合など、いわゆるサラリーマンの健康保険のことです。市町村の国民健康保険や国民健康保険組合は、含まれません。

■「医療費通知」について

加入者（被保険者）の皆さまに健康や医療に対する理解を深めていただくとともに、制度の健全な運営を図るために、医療費通知を行っています。

平成21年7月から平成21年12月診療分の医療費通知を、3月末に北海道後期高齢者医療広域連合より送付しています。

医療費通知は、請求書ではなく、医療機関等からの診療報酬明細書に基づき「医療費の総額」を記載しており、記載されている月に病院や薬局などにかかれた一覧です。

医療機関等の請求の遅れ等のため、医療費通知に記載されないことがあります。ご不明な点がございましたら、北海道後期高齢者医療広域連合または役場住民課保険医療係へお問い合わせください。

お問い合わせ先	北海道後期高齢者医療広域連合	011-290-5601
	役場住民課保険医療係	32-2422

JOCジュニアオリンピックカップ2010全日本ジュニアスキー選手権

3月10日(水)から12日(金)の3日間、国内のトップクラスの中高生が集まり世界の舞台でも通用する選手を育成することを目的に継続して開催されている「JOCジュニアオリンピックカップ2010全日本ジュニアスキー選手権大会」が新潟県妙高市において行われ、和寒中学校の生徒3名が出場しました。白熱した雪上の戦いの結果は以下のとおりです。

男子クロスカンントリー 10km 中学2年

	クラシカル	フリー
梶田晃司くん	20位	16位
村岡快斗くん	16位	17位

女子クロスカンントリー 5km 中学2年

	クラシカル	フリー
松村真由さん	16位	17位



3月1日(月) 出場報告を行う3選手

自衛官募集中!

■種目

- ①一般・技術幹部候補生 ②歯科幹部候補生 ③薬剤幹部候補生 ④予備自衛官補（一般公募）
- ⑤予備自衛官補（技能公募） ⑥一般曹候補生

■応募資格

- ①22歳以上26歳未満（大学院修士学位取得者は28歳未満）
- ②20歳以上30歳未満 ③20歳以上26歳未満
- ※②・③は専門の大学卒（卒業見込みを含む）
- ④18歳以上34歳未満 ⑤18歳以上53歳・54歳・55歳未満（保有する技能によります）
- ⑥18歳以上27歳未満

■募集期限

- ①②③平成22年4月1日～5月10日まで ④⑤平成22年1月12日～4月9日まで
- ⑥平成22年4月1日～5月10日まで

■試験日

- ① 平成22年5月15日（土）・16日（日）※16日は飛行要員
- ②③平成22年5月15日（土） ④平成22年4月17日（土）
- ⑤ 平成22年4月18日（日） ⑥平成22年5月22日（土）

■問い合わせ先

- ◎パンフレット・志願票は、こちらに用意してあります。
- *自衛隊旭川地方協力本部 名寄出張所
- 電話：01654-2-3921（電話お待ちしています）
- 住所 〒096-0011 名寄市西1条南9丁目45（公園通り）
- ※志願受付票は、和寒町役場総務課でも用意してあります。



第16回 読書感想文コンクール

応募総数259点の中から、次のとおり優秀賞に選ばれました。(敬称略)

- 小学校1年生の部(応募総数27点)
優秀賞 玉根 学 「パンダのパンや」をよんで
- 小学校2年生の部(応募総数34点)
優秀賞 大場 都久美 アレクサンダとぜんまいねずみ
- 小学校3年生の部(応募総数25点)
優秀賞 南 なぎさ 鈴とリンのひみつレシピ!
- 小学校4年生の部(応募総数26点)
優秀賞 兼丸 拳哉 のろのろひつじとせかせかひつじ
- 小学校5年生の部(応募総数39点)
優秀賞 金谷 羽純 犬と私の10の約束を読んで
- 小学校6年生の部(応募総数24点)
優秀賞 中谷 さつき イクバルの闘いを読んで
- 中学生の部(応募総数84点)
優秀賞 高原 千尋 塩狩峠



第52回 町民スキー大会結果

2月27日(土)、東山スキー場において第52回町民スキー大会が行われました。大会結果は次のとおりです。(敬称略)

距離競技		1位	2位	3位
小学1・2年組	男子	村岡来玖		
	女子	松村美緒	鬼頭くるみ	
小学3・4年組	男子	十川涼矢	村上伊吹	中谷勇志
	女子	辻 あすか	瀬川結貴	佐々木 凜
小学5・6年組	男子	鬼頭壮一郎		
	女子	酒井結衣	中谷さつき	鈴木志穂
中学生組	男子	袋田晃司	村岡快斗	森山翔吾
	女子	松村真由	山口美幸	

大回転競技		1位	2位	3位
幼児組		朝日美依奈		
小学1・2年組	男子	前鼻弥優	垂又晃生	佐藤 涼
	女子	外山睦子	松村美緒	中村光沙
小学3・4年組	男子	郷 佳玖	窪田 樹	須賀大志
	女子	南 なぎさ	瀬川結貴	高原未来
小学5・6年組	男子	郷 瞬希		
	女子	南 香那		
中学生組	男子	金谷光真		
高校生以上組	男子	漆山裕章	中村 勝	藤井 誠

滑降競技		1位	2位	3位
幼児組		兵藤菜絆		
小学1・2年組	男子	村岡来玖	山中駿吾	加藤 翔
	女子	鬼頭くるみ	村岡美也	
小学3・4年組	男子	渡邊大宝		
小学5・6年組	男子	鬼頭壮一郎	岡 俊之介	福井惟之
	女子	井川 愁	鈴木志穂	



スノーボード競技		1位	2位
小学5・6年組	男子	高橋志稀	佐藤洋斗
高校生以上組	男子	鈴木健一郎	

図書館へいこう!

新着本のご案内

〔一般書〕

〔コロヨシ〕(三崎亜記)
南の子供が夜いくところ(恒川光太郎) あとより恋の責めくれれば(竹田真砂子) この世は二人組ではできあがらない(山崎ナオコラ) ナニカア(桐野夏生) 深重の橋 上下(澤田ふじ子) 愛しいひと(明野照葉) 岸辺の旅(湯本香樹実) 味憶めぐり(山本一力) うさぎ幻化行(北森鴻) ロスト・シンボル 上下(ダン・ブ라운) 星をさがして(張間ミカ) 屋台くずし(東山信子) 喪失(森村誠一) 菜の花(花想殺人事件(木谷恭介) 薔薇とサーベル(赤城毅) 満月の夜、母を施設に置いて(藤川幸之助) ダウンタウン(小路幸也) 寂滅の剣(北方謙三) スターバート・マール(篠田節子) セシルのもくろみ(唯川恵) 新・雨月 上下(船戸与一) 身命を惜しまず(津本陽) オスカ(デイヴィッド・ドーサー) 屋上の黄色いテント(椎名誠)

〔児童書〕

風の館の物語4(あさのあつこ) 学校クエスト(中松まるは) みつけちゃ(ムグリム) フィギュアドリーム(スリア・チェリ) 王さまのアイスクリーム(フランセス・ステリット) トトンぎつね(今江祥智) かえんだい(川端誠) 四角いクラゲの子(石井聖岳) どんぐりと山猫(佐藤国男)

毎週土曜日
14時00分～
おはなしかい開催

— 話題の本 —
『背信-待ち続けたラブレター-』
(森 久美子/著)
明治37年、貧しい農家に生まれたヨシノは、身体の弱い母の代わりに弟妹の面倒をみながら成長する。14歳のとき、札幌で製麻工場を営む野田家に女中として奉公に出た。そこにはヨシノと同じ年代のお嬢さん・廣子がいた。

読み聞かせボランティア募集中! 興味のある方は図書館までご連絡ください。

病院だより

「床ずれ」ってなに?

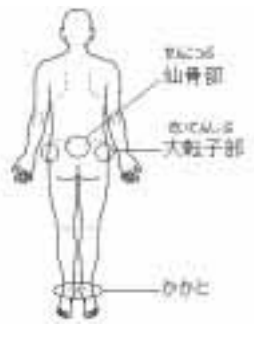
町立和寒病院 病棟看護師 林 千枝子

「床(とこ)ずれ」をご存知でしょうか? 医療用語では「褥瘡(じょくそう)」と呼んでいます。

褥瘡
褥瘡とは、体の一部に持続的な力が加わることで血行が悪くなり、皮膚の組織が傷害されることです。どのようになるかと言うと、まず初めに皮膚が赤くなり、その状態が続くと皮がむけます。次第に傷の範囲も広がり、(傷の)穴も深くなり、時には骨に達することもあります。

【できやすい部位】

できやすい部位は、おしりの上部分(仙骨部)、足の付け根に近い部分(大転子部)、かかとなどですが、例えば後頭部や耳たぶなど、どこにでもできると思っています。



体の一部が圧迫されること、他にも、汗をかきやすいとか、オムツを使用しているなど、常

に皮膚が湿った状態であることや、高齢者では反対に乾燥しすぎていることも原因になります。またベッドから車椅子に移動する時など、体をずらす時に生ずる皮膚のズレや摩擦も無理な力がかかることで原因の一つとなります。

【予防】

予防は要するに原因を取り除くことなのですが、なかなか簡単なことではありません。体位交換といつて体の向きを変えることは基本的なことですが、2〜3時間おきといわれています。また、体の清潔を保つためには体を拭いたり、オムツの交換や、乾燥に対しては保湿も必要です。他にもシーツや寝巻のしわを直したり、ヒモの結び目やボタンが体の下にならないように気をつけて見なければなりません。

局所的な予防とは別に、全身状態を良好に保っていくことも大事で、栄養状態が悪いと皮膚も傷つきやすく、一度傷ついた皮膚はなかなか再生しません。床ずれをつくらないことは、病院においても、また在宅で介護されている人にとっても大きな課題のひとつなのです。床ずれを予防するための物品

もありませんが、そのひとつがエアマットです。敷布団の中に空気が入っているようなものですが、それによって体の一部にかかる力を分散するものです。種類は色々ありますが、最近はその空気が動いて体位変換の役目をしてくれる物も出ています。円座というドーナツ型のクッションをご存じの方もいるかと思いますが、以前は骨の突出した部位を浮かせるためによく使われていたのですが、最近はおえつて一部の血行が悪くなるということで殆んど使われていません。在宅では低反発のマットが使いやすいかもしれませんが、大きさは様々でベッドの全面に敷くものから足元だけに使うような小さなものもあります。マット等を上手に利用することで床ずれの予防に効果があるでしょう。しかし、このような物品は補助的なもので、一番大切なのは毎日の観察やケアであることに変わりありません。床ずれ時には全身をむしばむ原因ともなりかねません。予防し床ずれを作らないことはもちろん大事ですが、異常を早く発見し、もしできてなるべく軽いうちに治療し、傷を大きくしないことが大切なのです。

年金あれこれ

平成22年度の国民年金保険料が変わりますので、お知らせします

○保険料額が改正されます（平成22年度）

平成22年4月から平成23年3月までの国民年金保険料は月440円引き上げられます。

定額 . . . 1か月 15,100円

付加（希望する人） . . . 1か月 15,500円

付加保険料を納付すると（200円×付加保険料納付月数）で計算された金額が、老齢基礎年金に加算されま
す。

○保険料前納制度の割引額が改正されます（平成22年度）

1年間又は、6か月間の保険料をまとめて納める《前納制度》は保険料が割引となり、大変お得で、納め忘れの
防止にもなります。ぜひご利用ください。

区 分	月々納めた場合	1年分前納した場合	6か月分前納した場合
定額保険料	15,100円×12か月 181,200円	177,980円 (3,220円割引)	89,860円 (740円割引)
付加保険料	15,500円×12か月 186,000円	182,690円 (3,310円割引)	92,240円 (760円割引)

1年分前納する場合 の納付期限は、平成22年4月末日です。

6か月分前納（4月～9月分）の納付期限は、平成22年4月末日です。

6か月分前納（10月～3月分）の納付期限は、平成22年10月末日です。

○保険料の納付方法

- 納付書による納付
 - 毎月納付（納期限：翌月の末日）
 - 前納納付 . . . 1年分・6か月分（納期限：上記参照）
- 口座振替による納付
 - 毎月納付（納期限：翌月の末日）
 - 毎月納付[早割]（納期限：当月の末日）
 - 前納納付 . . . 1年分・6か月分（納期限：上記参照）
- クレジットカードによる納付
 - 毎月納付（納期限：翌月の末日）
 - 前納納付 . . . 1年分・6か月分（納期限：上記参照）



保険料納付を忘れずに . . . 納めて安心国民年金

これからの家庭教育

～子どもは元気に遊んでいますか？～

お父さん、お母さんの子ども時代は三角ベース、馬とび、なわとびやかくれんぼなど、日が暮れるまで友達と時間を忘れて遊んだことを思い出してみてください。今の子どもはどうでしょうか？友達と元気に外遊びをしている子どもの姿は年々減っています。

子どもは体を使って遊ぶことが少なくなり、体を動かさなくなってきました。それと同時に、子どもの体に様々な異変が起きています。大人は自分達の毎日の運動不足については、多少の不安は持っていますが、子どもの姿に注意を払うことを怠っているのではないのでしょうか。

まず簡単なチェックリストでお子さんの今の状態をチェックしてみましょう。該当する項目がいくつかみられたら家族の生活を見直してみる必要がありそうです。

（元気アップ親子セミナーブック「TOUCH」抜粋）
- 和寒町青少年育成町民会議 -

あなたのお子さんは大丈夫？

（お子さんにもやってもらいましょう）

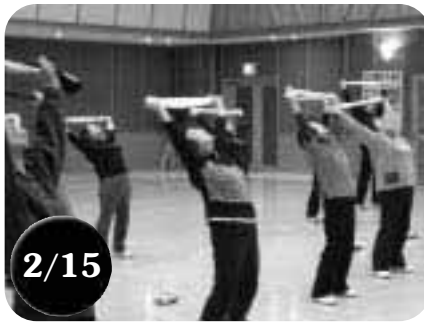
- よく「疲れた」と口にする
- 外で遊ぶよりも、家のなかで遊んでいることが多い
- 清涼飲料水やスナック菓子が好き
- 毎日、テレビを3時間以上見ている
- 夜11時になっても寝ない日が週に2回以上ある
- テレビゲームが好きで、毎日やっている
- 朝ごはんを食べないときがある
- 標準より太っていると思う
- 運動したり体を動かすのは、好きではない
- 転んで顔にケガをしたことがある

あてはまるものが0～1個なら心配いりません。3つ以上なら黄色信号、5つ以上なら赤信号です。生活を見直してみましょう。また、お子さんの回答とのずれにも注意してください。

まちのニュース カメラ・アイ ~地域のお届けします~

健康体操教室

2月15日(月)、17日(水)、22日(月)の3日間、公民館 恵み野ホールにおいて、健康体操教室が行われました。15日、17日は家にあるものを使ったヘルシー体操として和寒高校教頭桂 玲子さん、22日にはコア・トレーニングとして名寄市在住の笹 真由美さんを講師としてお招きし、参加された方々は今後の健康維持に向けて、ストレッチや体の動かし方について学びました。



2/15

学校支援ボランティアスキー授業

2月1日から2月19日まで6回にわたり、東山スキー場で小学校のスキー授業が行われ、学校からの要望により、スキーの指導員の資格を持つ学校支援ボランティアの方々が、生徒達のスキー指導にあたりました。おそろおそろ滑っていた子どもたちもみるみる上達し、スキーを楽しみ、学校や生徒たちからも喜ばれていました。

2月19日(月)、公民館において、認知症講演会が行われました。講師は、旭川市民生・児童委員を始め認知症や障がい者に対する専門的な資格を持つ、福原米久光氏を講師に招き、認知症講演会が開催されました。参加した約70名の介護関係者や町民の皆さんは、身振り、手振りを変えた楽しい講話に、熱心にならずきながら聴き入り、終始なごやかな講演会となりました。



2/19

認知症講演会



2/22

2月22日(月)、保健福祉センターにおいて、「認知症でもだいじょうぶ、安心いっぱい町の町」と題し、旭川市民生・児童委員を始め認知症や障がい者に対する専門的な資格を持つ、福原米久光氏を講師に招き、認知症講演会が開催されました。参加した約70名の介護関係者や町民の皆さんは、身振り、手振りを変えた楽しい講話に、熱心にならずきながら聴き入り、終始なごやかな講演会となりました。

自治会連合会研修会

2月25日(木)、町民センターにおいて自治会連合会主催による研修会が行われました。講師には美深町自治会連合会長の教重氏、事務局長の内山氏、事務局の田畑氏が、美深町自治会活動での取り組みや課題などを紹介しました。参加した約40名の自治会関係者及び町職員らは、先進的な取り組みや事例などを学び充実した研修会となりました。



2/25

越冬キャベツヘルシー料理教室

3月9日(火)、公民館において公民館講座、和寒産越冬キャベツヘルシー料理教室が開催されました。農業女性生活改善グループ、かたくり、代表高橋利子氏の方々に講師に招き、和寒産越冬キャベツをふんだんに使った、キャベツたっぷりコロッケなどのオリジナル料理を5品作りました。参加者は、とても美味しい、家でも作ってみようという大満足の様子でした。



3/9

和寒中学校卒業式

3月12日(金)、和寒中学校において第63回卒業証書授与式が行われました。今年から和寒高校跡地に移転することが決定していることから、27名の卒業生はこの校舎最後の卒業記念として、「さようなら和寒中学校、ありがとうぼくたちの教室」と書かれた卒業生一人ひとりの名前が記されたパネルを体育館に掲示していました。



3/12

和寒小学校卒業式

3月19日(金)、和寒小学校において第105回卒業証書授与式が行われました。新たな制服に身を包んだ24名の卒業生は、緊張した面持ちで卒業式に出席し、これまでの学校生活を振り返りながら在校生との別れを惜しんでいました。



3/19

感謝

☆芳生苑・健楽苑☆

|| 寄贈 ||

野菜他

▼遠藤 善幸さん (北原)

▼太田 雅芳さん (松岡)

▼三和・菊野自治会女性部

|| 慰問 ||

▼喫茶ルームボランティア

▼草花の会 押花作品展示

▼和寒町日赤奉仕団

▼酒井 久子さん

(健楽苑介護ボランティア)

☆社会福祉協議会☆

|| 寄附 ||

▼福原米久光さん (旭川) から社会福祉事業に、1万円を

戸籍の窓

◆おめでとつ赤ちゃん

赤ちゃん

お母さん

住所

渡部

零音れおん

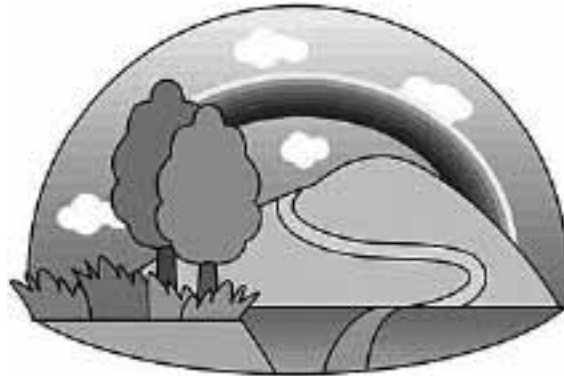
陽子やうし

日ノ出

◆お悔やみ申し上げます

氏名 年齢 住所

白川部正雄あきお (79歳) 芳生苑
坂本みさ子みさこ (71歳) 三笠



ハロ-ベイベー



こゝろ れん
笠嶋光蓮かすまひみつれん

《H20. 11. 24生まれ》

西町 笠嶋 覚さとし・恵子けいこの長男

みなさん、こんにちは。光蓮です。ぼくは、だれに話かけられてもうれしくて、にこにこしちゃうんだ！特に、お姉ちゃんに遊んでもらうのが大好きだよ。お姉ちゃんの歌う歌で、リズムをとって体を動かすのも得意なんだ。どこかで見かけたら「こうちゃん」って話しかけてね！よろしくお願ひします。



か りん
玉根可鈴たまねかりん

《H20. 12. 1生まれ》

南町 玉根 修しゅう・尚美しょうみの5女

はじめまして、かりんといいます。私には、お兄ちゃんとお姉ちゃんがたくさんいて、皆がいっぱい遊んでくれます。まだちゃんと歩けないけど、いろんな所をくぐっていくのが大好き。でも皆にすぐつかまってしまうので、つまらなくて…。4月からは、保育所にも行かなきゃならない忙しいのです。

発行 北海道 和寒町役場／総務課

■人口	3,988人 (△4人)
・男	1,855人 (△5人)
・女	2,133人 (1人)
■世帯数	1,756戸 (△2戸)
() 内は前月対比	
出生	2人 死亡 0人
転入	3人 転出 9人
3月1日現在	

人の動き

インターネットでも情報満載！

和寒町ホームページアドレス

<http://www.town.wassamu.hokkaido.jp/>

和寒町携帯電話サイト

http://www.town.wassamu.hokkaido.jp/08_mobile/mobile_top.htm

E-MAIL info@town.wassamu.hokkaido.jp



古紙配合率50%再生紙を使用しています